

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成22年9月29日

目次

1 本県の経済概況	1～2
2 主な指標の動き	3
(1) 個人消費	3～4
(2) 建設需要	5～7
(3) 生産活動	8～10
(4) 雇用・労働	11～13
(5) 物価	14
(6) 企業・金融	15～16
(7) 市場	17
3 主要経済指標	18～23
4 参考	24
1 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	24～26
2 景気動向指数(福島県)	27
3 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店)	28
4 月例経済報告(内閣府)	28
5 「最近の県経済動向」総合判断(福島県)	28

1 本県の経済概況

◆ 総合判断

県内の景気は、引き続き厳しい状況にあるが、雇用情勢において改善の動きがみられ、生産活動において回復に向けた動きがみられるなど、持ち直しの動きが続いている。

なお、為替変動による影響を注視する必要がある。

(総合判断:前月据置)



個別判断

◆ 概要

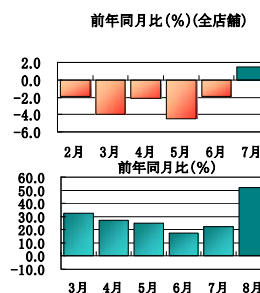
(1) 個人消費 【⇒】 ◆ 一部に明るい動きがみられるが、総じて弱い状態にある。

◆ 大型小売店販売額 (7月)

全店舗ベースで総額188億円、対前年同月比1.5%増(既存店前年同月比1.1%減)となり、14か月振りに前年を上回っている。

◆ 乗用車新規登録台数(8月)

新規登録台数は6,176台、対前年同月比51.9%増となり、13か月連続で前年を上回っている。



(2) 建設需要 【⇒】 ◆ 民間需要は前年を下回っている。公共工事は前年を上回っている。

◆ 新設住宅着工戸数 (7月)

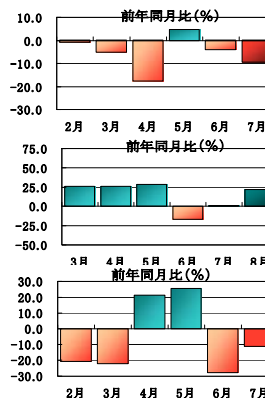
新設住宅着工戸数は790戸、対前年同月比9.4%減となり、2か月連続で前年を下回っている。

◆ 公共工事請負金額 (8月)

工事請負金額は総額約175億円、対前年同月比21.8%増となり、2か月連続で前年を上回っている。

◆ 業務用建築物着工棟数 (7月)

業務用着工棟数は138棟、対前年同月比11.0%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



(3) 生産活動 【⇒】 ◆ 回復に向けた動きがみられる。

◆ 鉱工業指数 (7月)

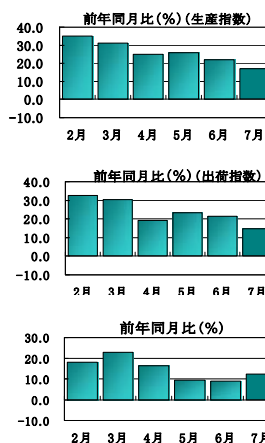
鉱工業生産指数は101.2(原指数・速報値)、対前年同月比16.9%増となり、8か月連続で前年を上回っている。なお、季節調整済指数は95.8(速報値)、前月と同値となっている。

鉱工業出荷指数は105.0(原指数・速報値)、対前年同月比14.6%増となり、8か月連続で前年を上回っている。

鉱工業在庫指数は119.6(原指数・速報値)、対前年同月比11.6%増となり、4か月連続で前年を上回っている。

◆ 大口電力使用量 (7月)

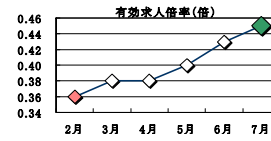
電力使用量は595,143kWh、対前年同月比12.5%増となり、8か月連続で前年を上回っている。



(4) 雇用・労働 【 ➡ 】 ◆ 雇用・労働は引き続き厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる。

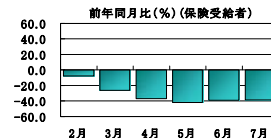
◆ 求人倍率 (7月)

新規求人倍率は0.75倍(季節調整値)、前月と同率となっている。
有効求人倍率は0.45倍(季節調整値)、前月を0.02ポイント上回っている。
 なお、有効求人数は4か月連続で前年を上回っており、有効求職者数は6か月連続で前年を下回っている。



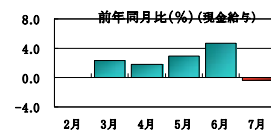
◆ 雇用保険受給者実人員 (7月)

受給者実人員は12,432人、対前年同月比**38.8%減**となり、6か月連続で前年を下回っている。

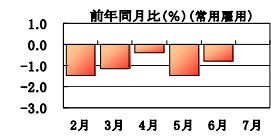


◆ 労働 (7月)

現金給与総額指数は99.0(事業所規模5人以上)、対前年同月比0.4%減となり、6か月振りに前年を下回っている。なお、事業所規模30人以上は98.0、対前年同月比1.2%増となり、5か月連続で前年を上回っている。



所定外労働時間指数は92.1、対前年同月比**22.1%増**となり、7か月連続で前年を上回っている。

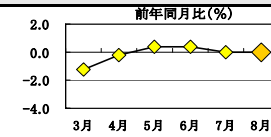


常用雇用指数は101.9、前年同月と同値となっている。

(5) 物価 【 ➡ 】 ◆ 企業物価指数は横ばいとなっている。消費者物価指数(CPI)は下落している。

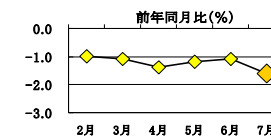
◆ 国内企業物価指数 (8月)

物価指数は102.8(速報値)、前年同月と同値となっている。なお、前月と同値となっている。



◆ 福島市消費者物価指数 (7月)

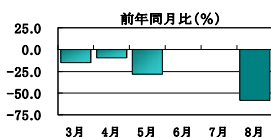
物価指数は98.8となり、対前年同月比**1.6%減**となり、18か月連続で前年を下回っている。なお、対前月比は1.0%減となり、2か月連続で下落している。



(6) 企業・金融 【 ➡ 】 ◆ 企業倒産は総じて落ち着いた状態で推移している。金融預金残高は前年を上回り、貸出残高は前年を下回っている。

◆ 企業倒産 (8月)

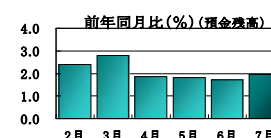
倒産件数は5件、対前年同月比**58.3%減**となり、3か月振りに前年を下回っている。



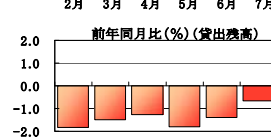
負債総額は5億1,200万円、対前年同月比**59.2%減**となり、2か月振りに前年を下回っている。

◆ 金融機関預貸残高 (7月)

預金残高は6兆5,680億円、対前年同月比**1.9%増**となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。



貸出残高は3兆8,341億円、対前年同月比**0.7%減**となり、9か月連続で前年を下回っている。



◆ 貸出約定平均金利 (7月)

平均金利は**1.809%**となり、前月より**0.036ポイント**低下し、5か月連続で前月を下回っている。

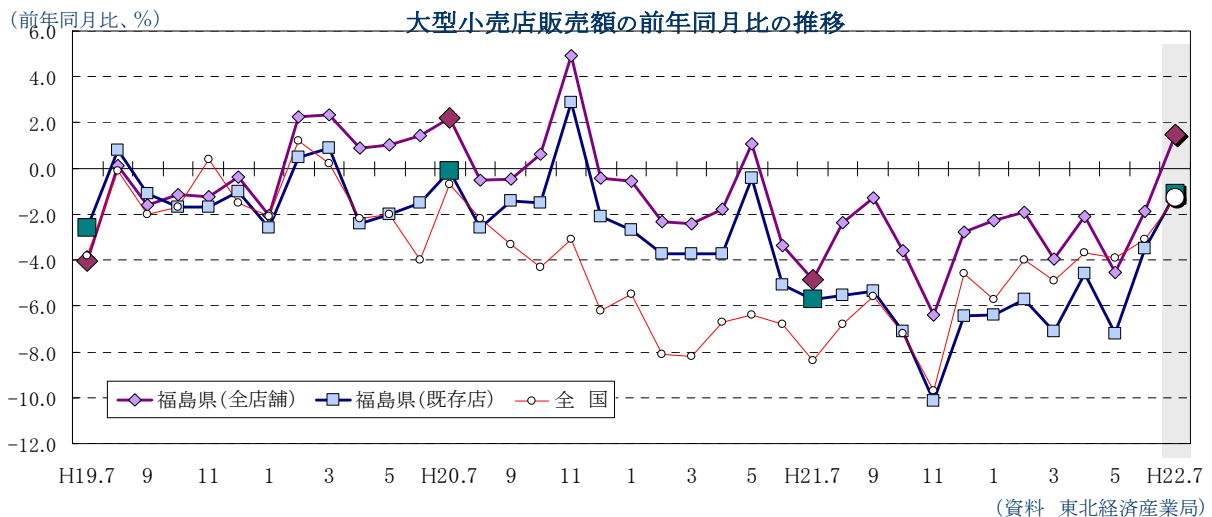
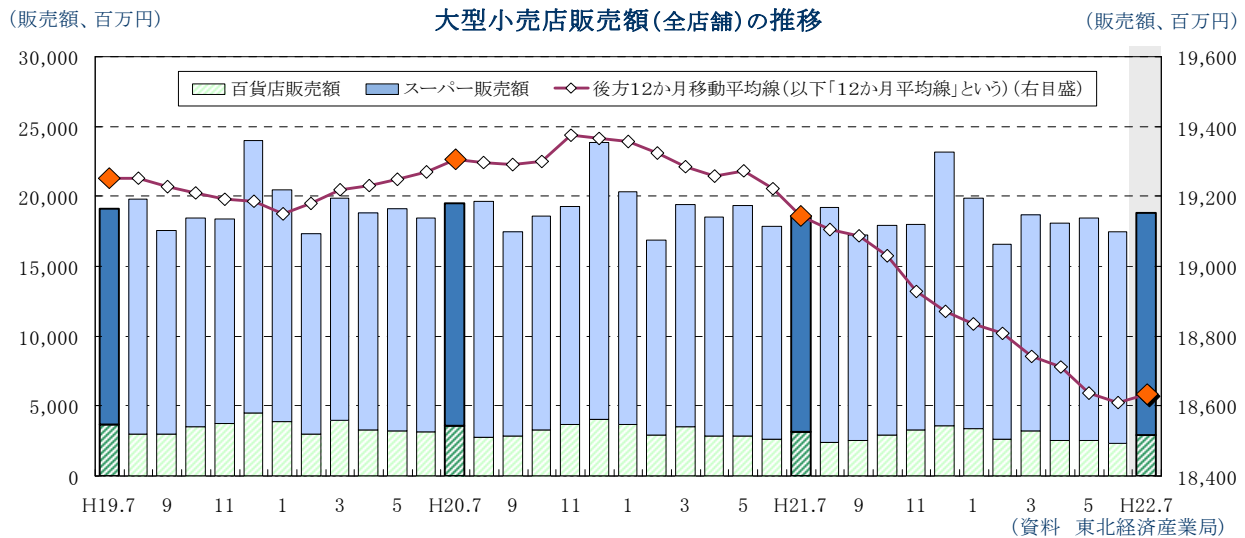
※備考 1 指標名が**緑字**の場合には、前回公表より指標が改善したことを表しており、指標名が**赤字**の場合には、前回公表より指標が悪化していることを表しており、指標名が**灰色**の場合には、同水準で推移している、または個別には判断のつかない指標であることを表しています。

2 主な指標の動き

(1) 個人消費

◆ **大型小売店販売額(7月)**は全店舗ベースで**総額188億円**、対前年同月比**1.5%増**となり、**14か月振りに前年を上回っている**。一方、既存店ベースの対前年同月比は**1.1%減**となり、平成20年12月以降前年を下回る動きが続いている。

内訳をみると、百貨店は全店舗ベースで対前年同月比**7.4%減**、既存店ベースで対前年同月比**0.8%増**となっている。一方、スーパーは全店舗ベースで対前年同月比**3.3%増**、既存店ベースで対前年同月比**1.4%減**となっている。

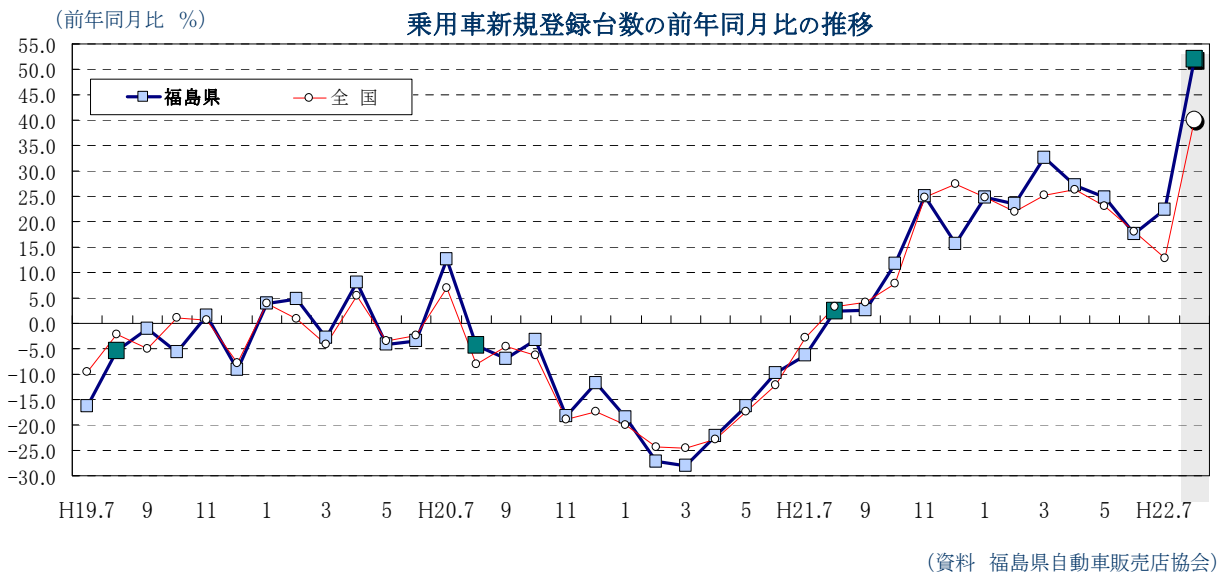
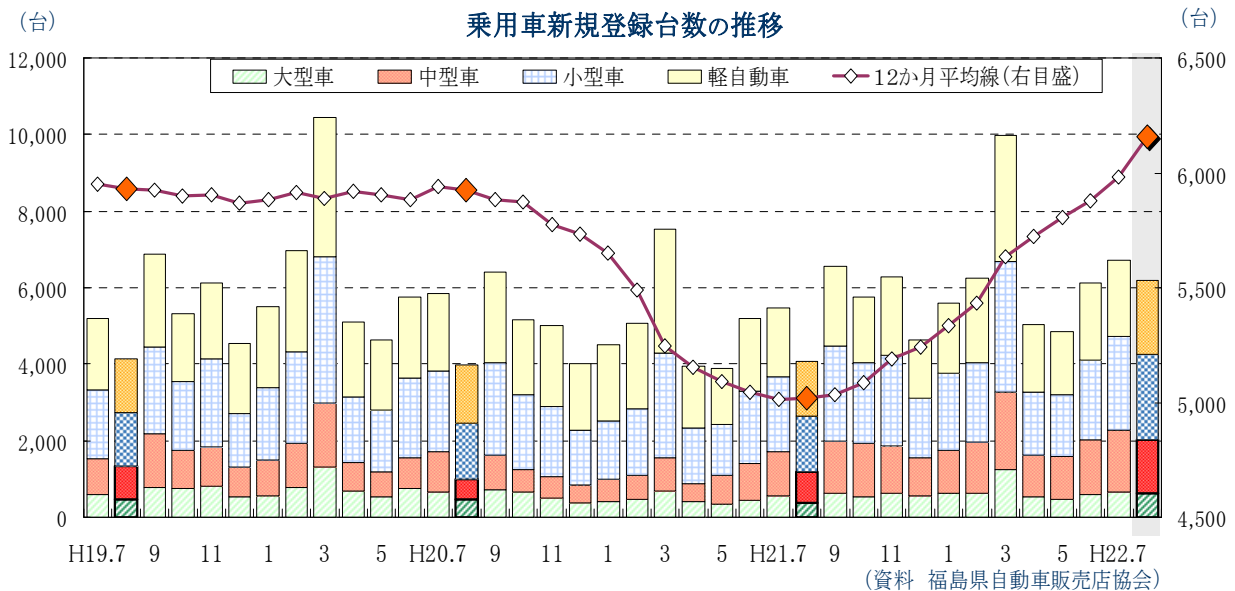


【大型小売店販売額】

調査対象となる百貨店3店とスーパー82店(7月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれているので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

◆ 乗用車新規登録台数(8月)は6,176台、対前年同月比51.9%増となり、13か月連続で前年を上回っている。

内訳をみると、大型車、中型車、小型車、軽自動車の全ての車種で前年を上回っている。

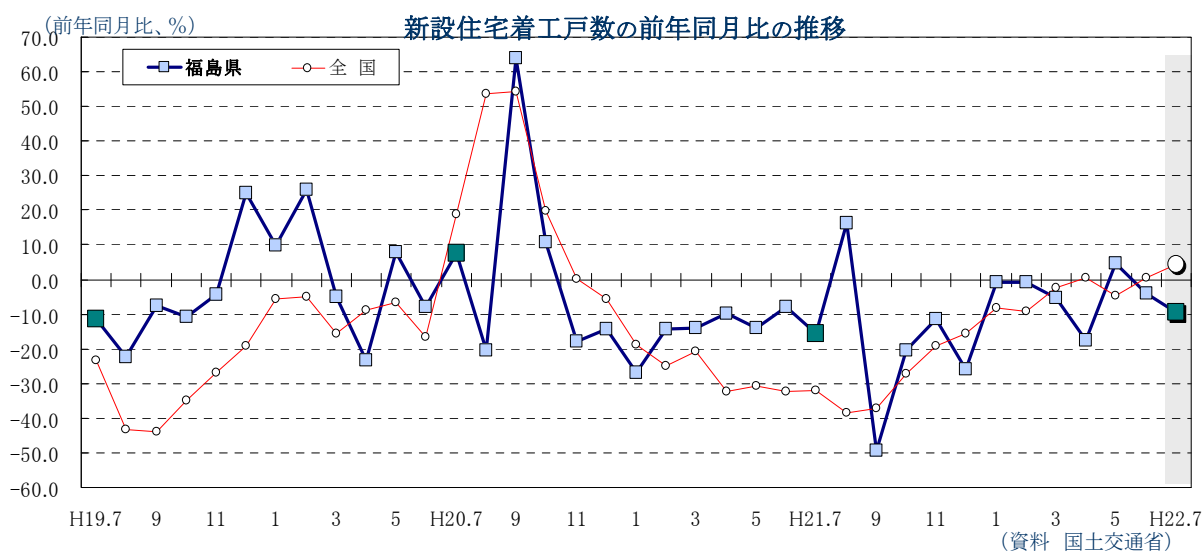
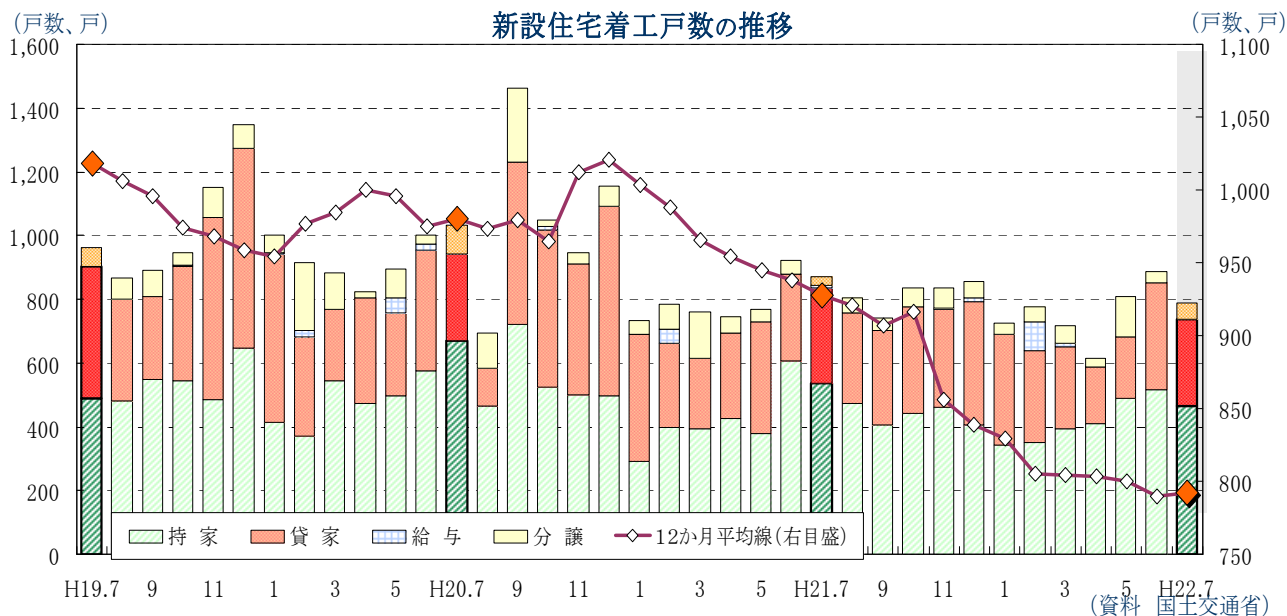


【乗用車新規登録台数】

乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

(2) 建設需要

◆ 新設住宅着工戸数(7月)は790戸、対前年同月比9.4%減となり、2か月連続で前年を下回っている。

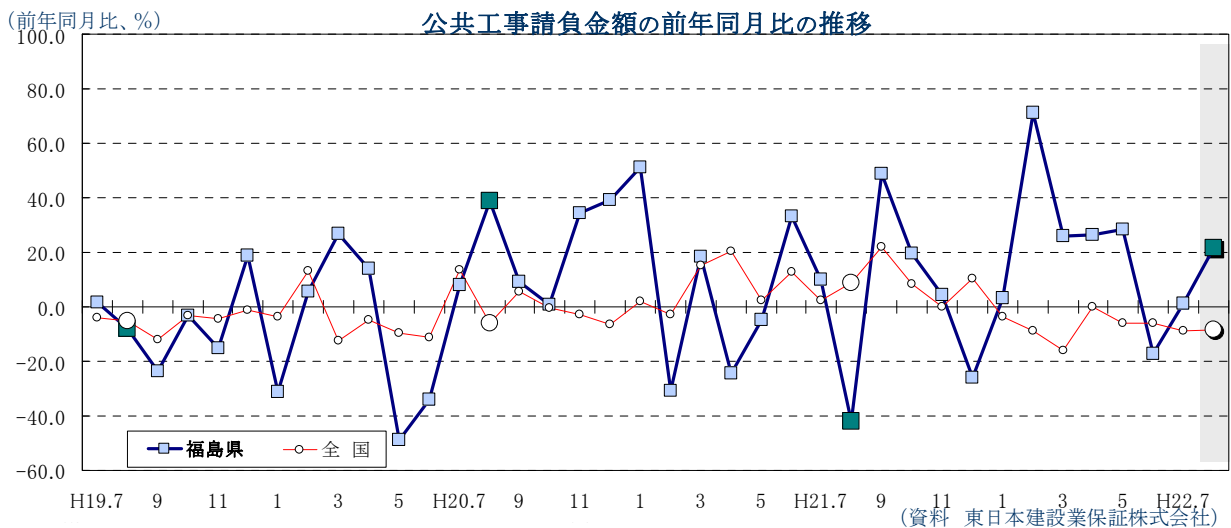
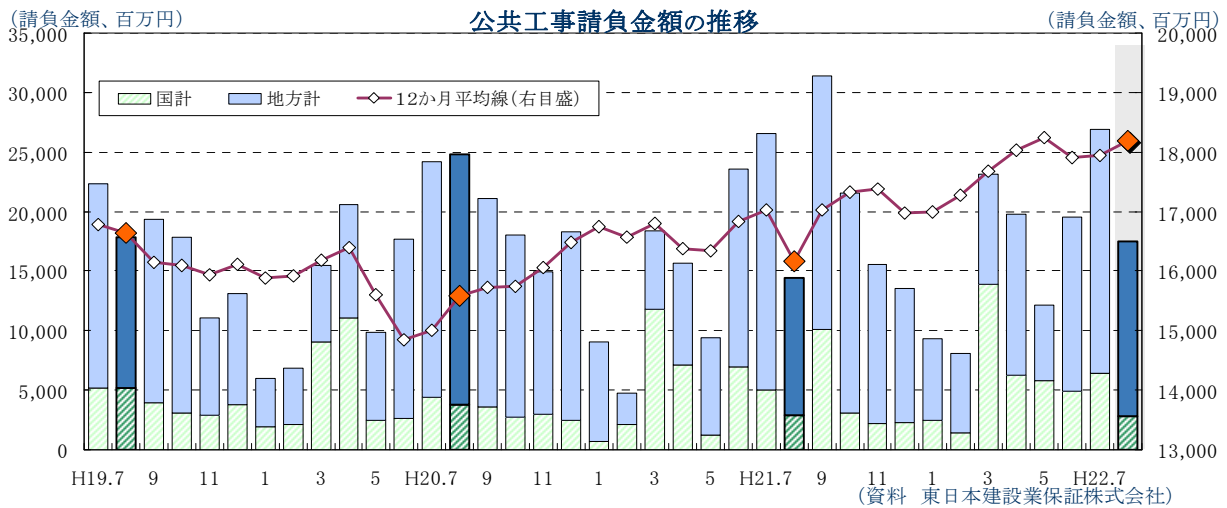


【新設住宅着工戸数】

家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事にその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。

◆ **公共工事請負金額(8月)**は総額約175億円、対前年同月比**21.8%増**となり、**2か月連続**で前年を上回っている。

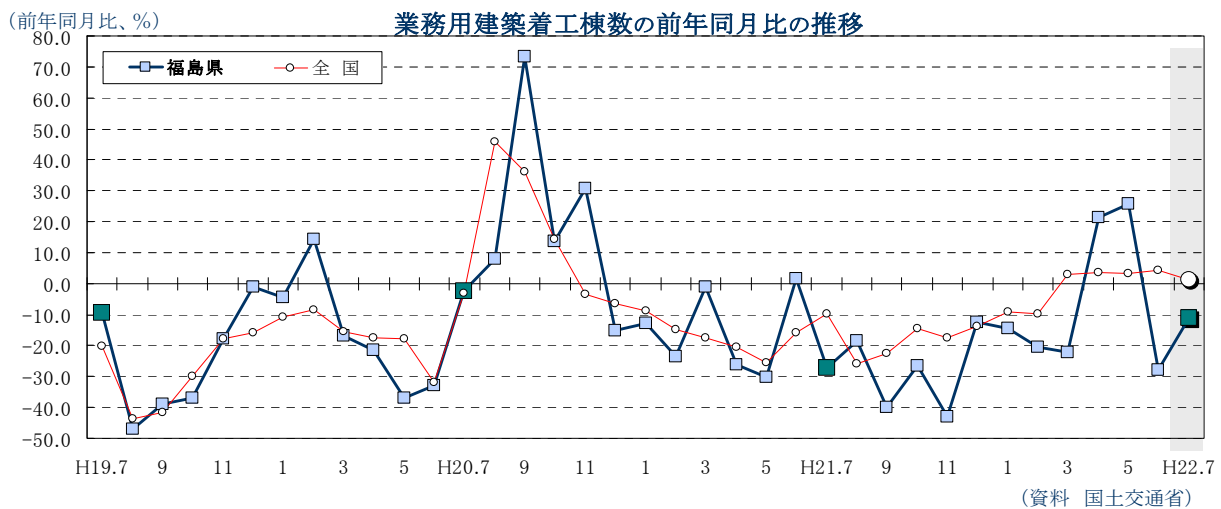
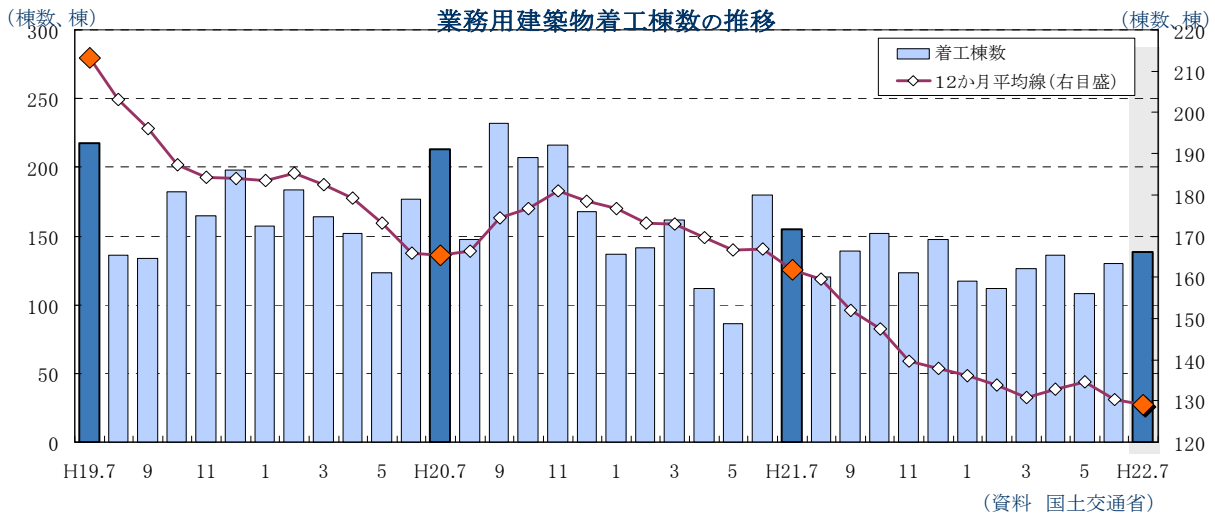
内訳をみると、国の機関は2か月振りに前年を下回り、地方の機関は4か月振りに前年を上回っている。



【公共工事請負額】

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

◆ 業務用建築物着工棟数(7月)は138棟、対前年同月比11.0%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



【業務用建築物着工棟数】

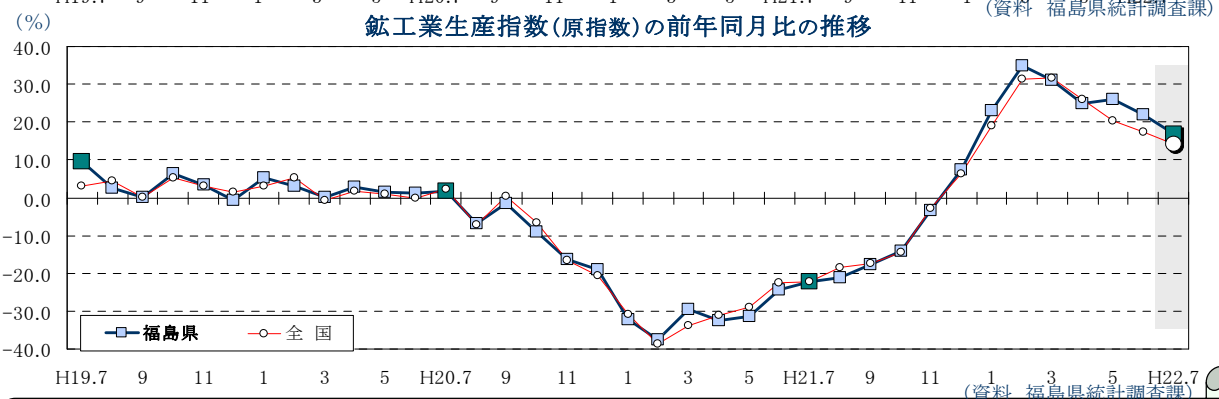
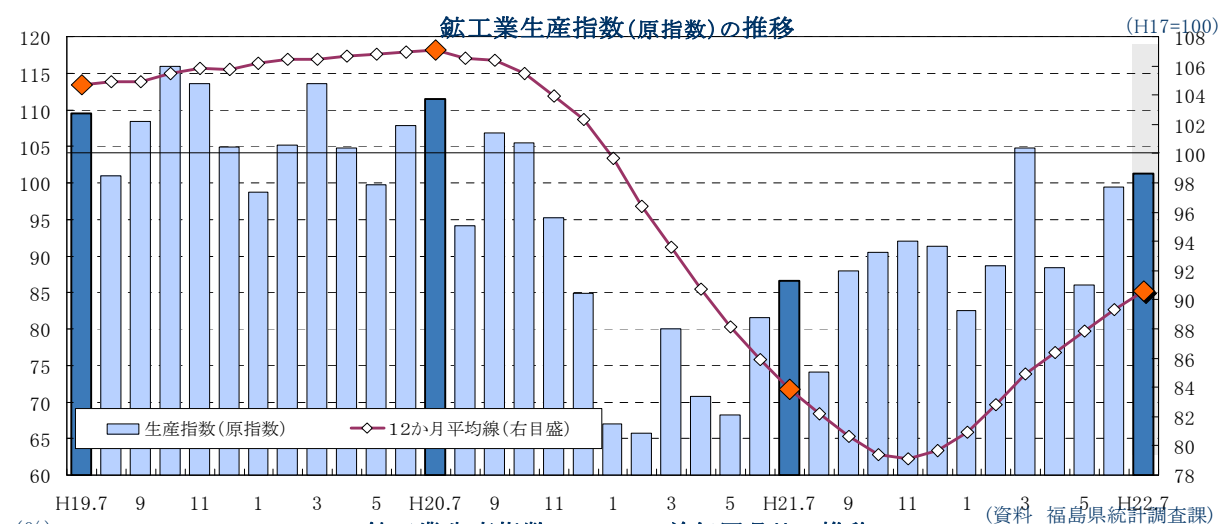
建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならず、この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

(3) 生産活動

◆ **鋳工業生産指数(7月)**は原指数**101.2**(速報値)、対前年同月比**16.9%増**となり、8か月連続で前年を上回っている。季節調整済指数は**95.8**(速報値)、前月と同値となっている。業種別(季節調整済指数)では、一般機械工業、情報通信機械工業などで前月を上回り、非鉄金属機械工業、輸送機械工業などで前月を下回っている。

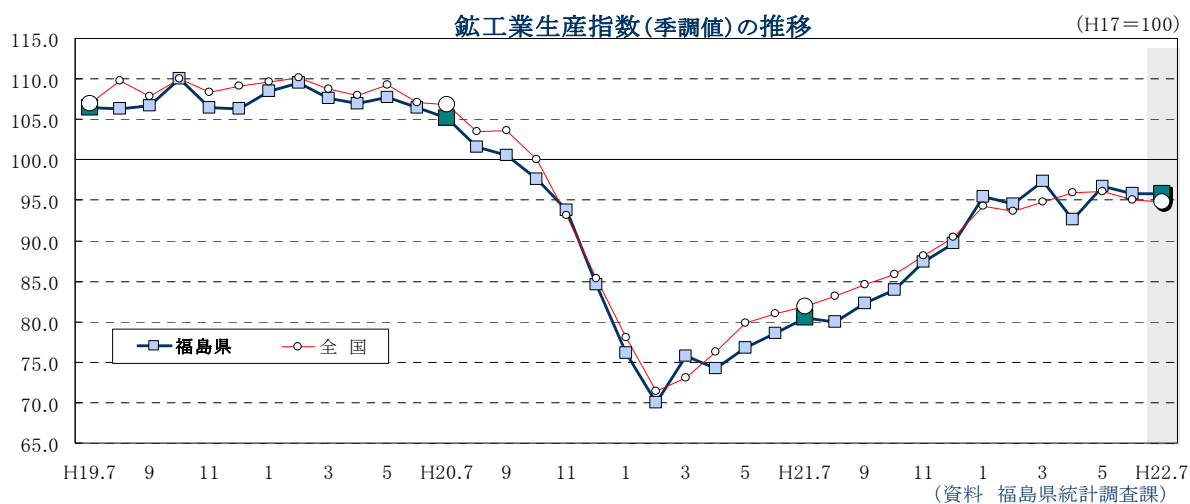
◆ **鋳工業出荷指数(7月)**は原指数**105.0**(速報値)、対前年同月比**14.6%増**となり、8か月連続で前年を上回っている。季節調整済指数は**100.7**(速報値)、対前月比**1.4%減**となり、3か月振りに前月を下回っている。

◆ **鋳工業在庫指数(7月)**は原指数**119.6**(速報値)、対前年同月比**11.6%増**となり、4か月連続で前年を上回っている。季節調整済指数は**118.8**(速報値)、対前月比**1.9%減**となり、2か月連続で前月を下回っている。



【鋳工業指数】

鋳工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(平成17年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。



【原指数と季節調整済指数】

鉱工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

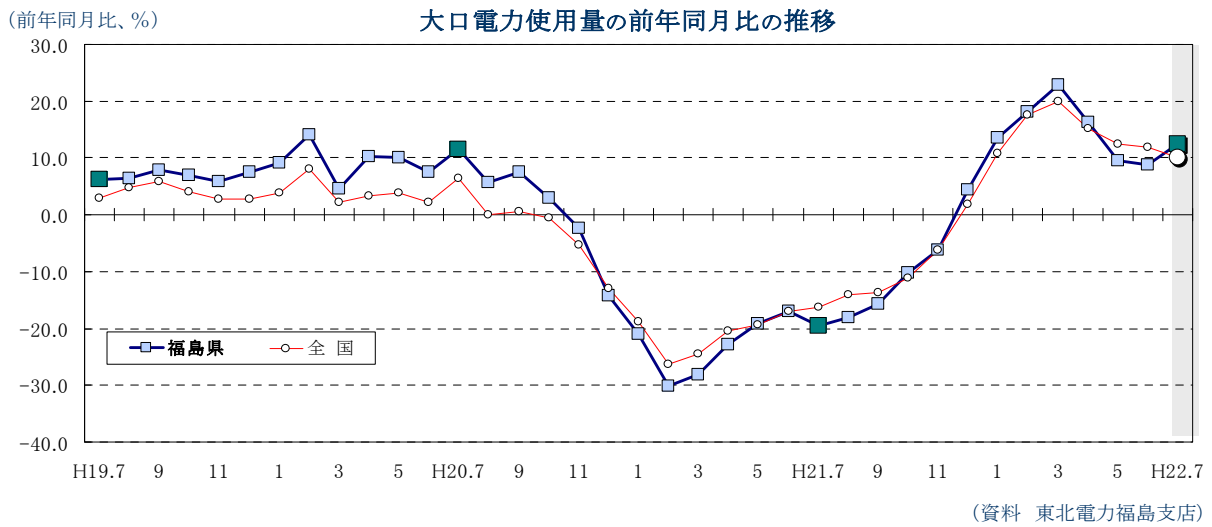
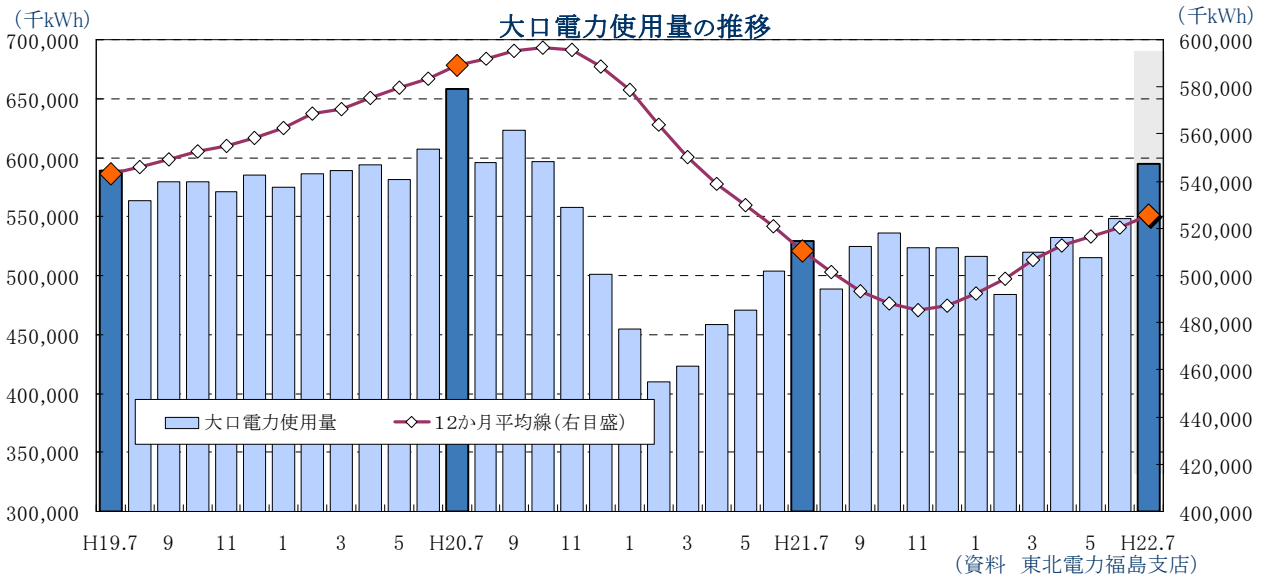
一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

【前月比と前年同月比】

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向(瞬間風速)を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計(例:金利等)では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

鉱工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で足下の動きをみるというように複合的に利用します。

◆ 大口電力使用量(7月)は595,143千kWh、対前年同月比12.5%増となり、8か月連続で前年を上回っている。



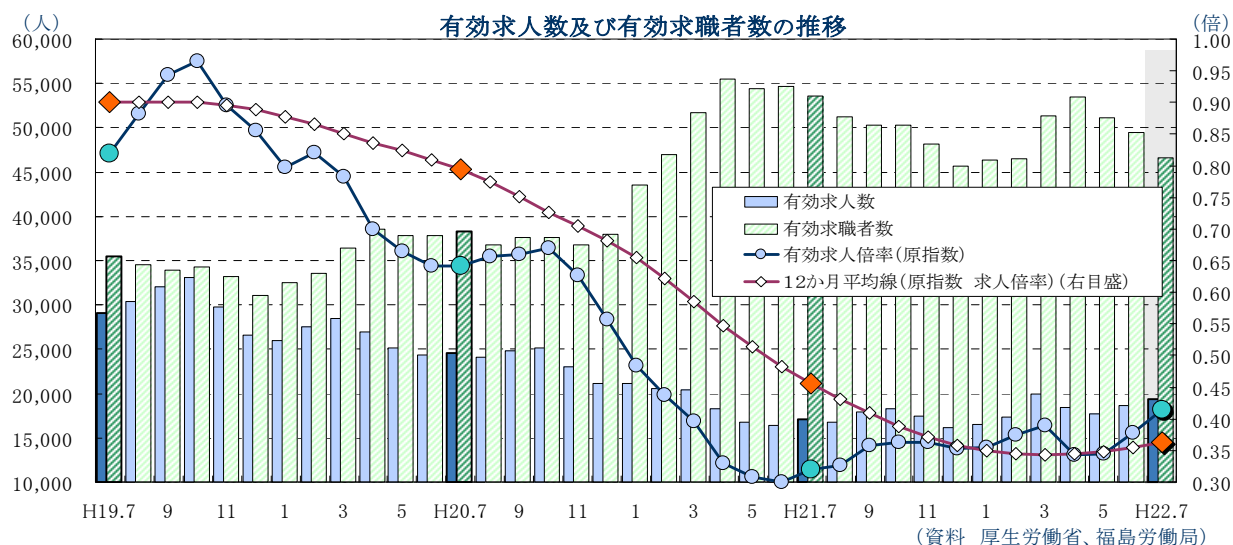
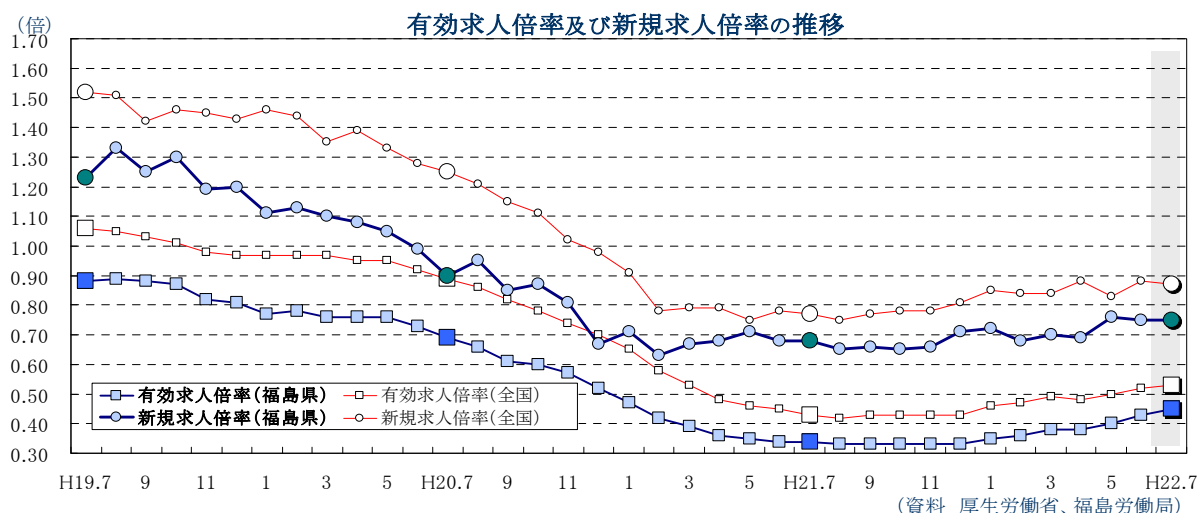
【大口電力使用量】

契約電力500kWh以上の大口の電力需要。産業の生産活動における生産要素の一つであるエネルギー面の投入量を示す指標です。主要産業の経済活動を敏感に反映し、速報性があります。

(4) 雇用・労働

◆ 新規求人倍率(7月)は0.75倍(季節調整値)、前月と同率となっている。

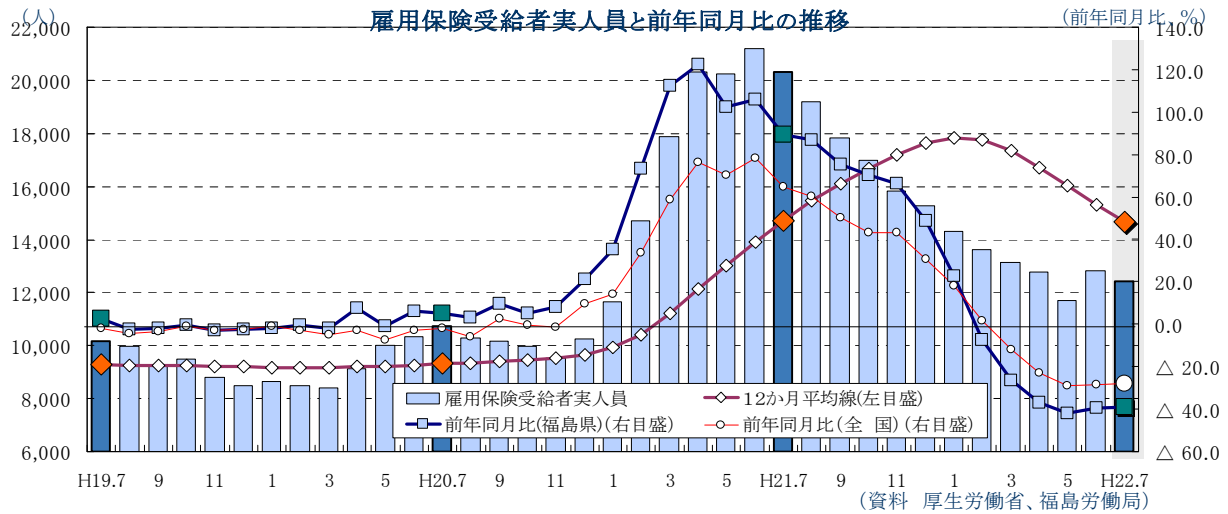
◆ 有効求人倍率(7月)は0.45倍(季節調整値)、前月を0.02ポイント上回っている。
 なお、有効求人数は19,372人(対前年同月比13.1%増)となり、4か月連続で前年を上回っている。一方、有効求職者数は46,654人(同13.1%減)となり、6か月連続で前年を下回っている。



【新規求人倍率と有効求人倍率】

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

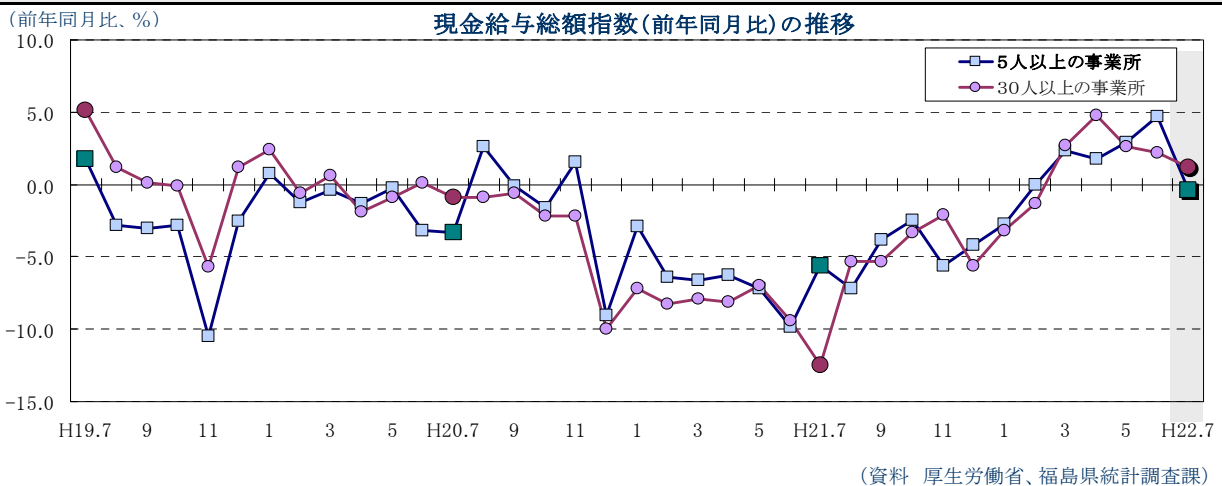
- ◆ 雇用保険受給者実人員(7月)は12,432人、対前年同月比38.8%減となり、6か月連続で前年を下回っている。



【雇用保険受給者実人員】

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きます。

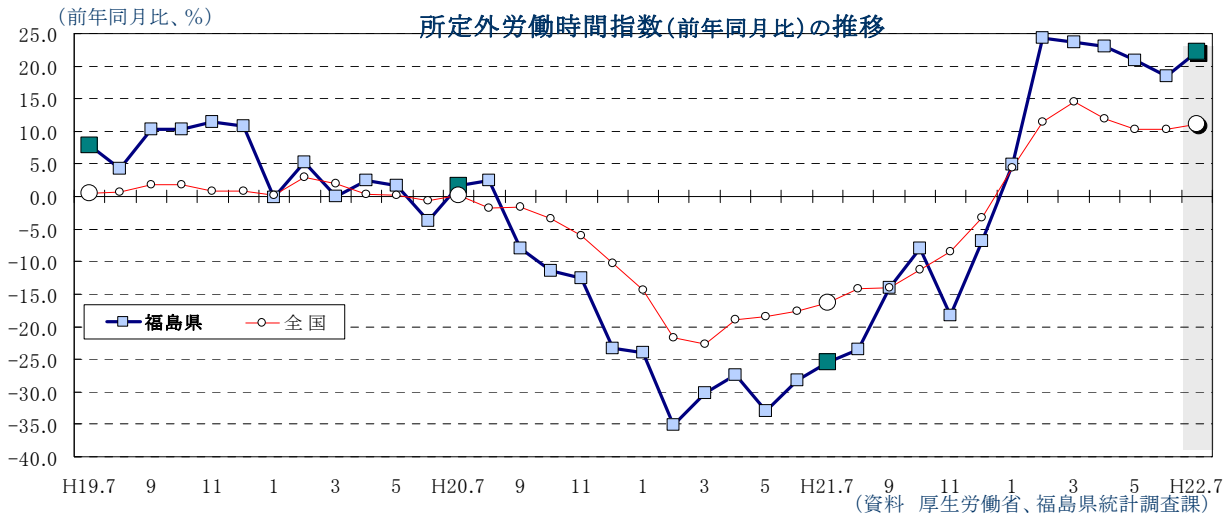
- ◆ 現金給与総額指数(名目)(7月)は99.0(事業所規模5人以上)、対前年同月比0.4%減となり、6か月振りに前年を下回っている。なお、事業所規模30人以上は98.0、対前年同月比1.2%増となり、5か月連続で前年を上回っている。



【現金給与総額指数】

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払ったものをすべて合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみる必要があります。

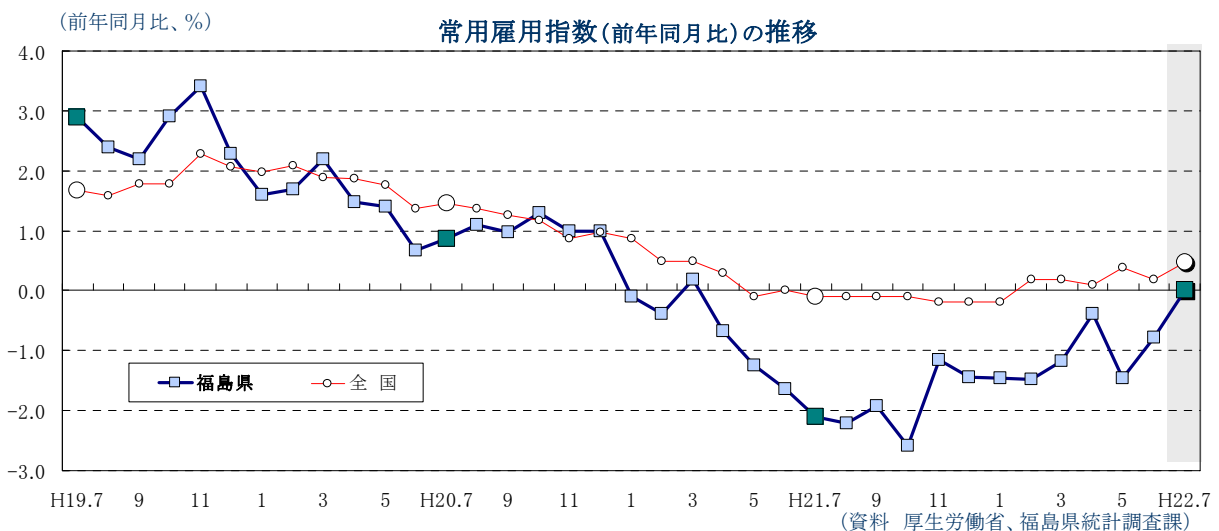
◆ 所定外労働時間指数(7月)は92.1、対前年同月比22.1%増となり、7か月連続で前年を上回っている。



【所定外労働時間指数】

所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加で対応することから、景気に敏感に反応します。

◆ 常用雇用指数(7月)は101.9、前年同月と同値となっている。

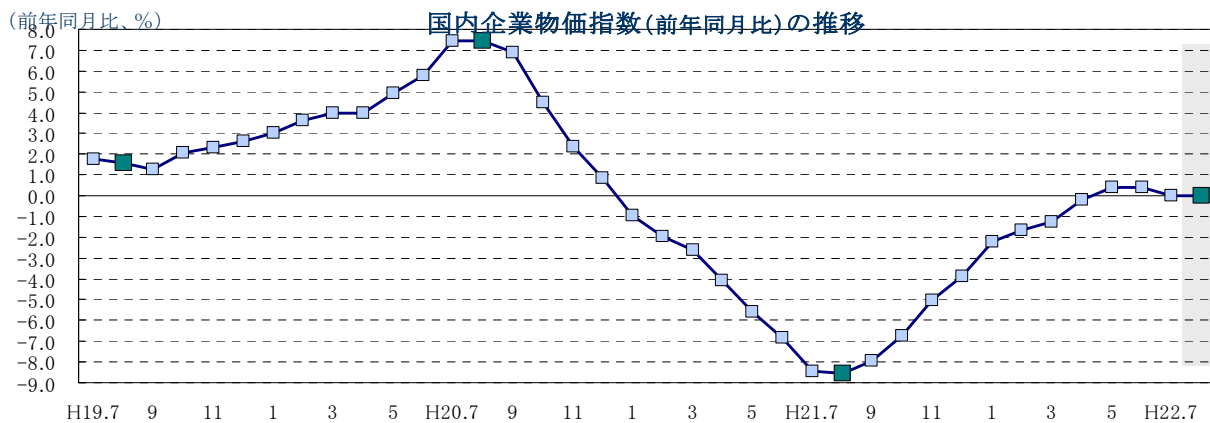


【常用雇用指数】

常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含みます。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

(5) 物価

- ◆ 国内企業物価指数(8月)は102.8(速報値)、前年同月と同値となっている。なお、前月と同値となっている。

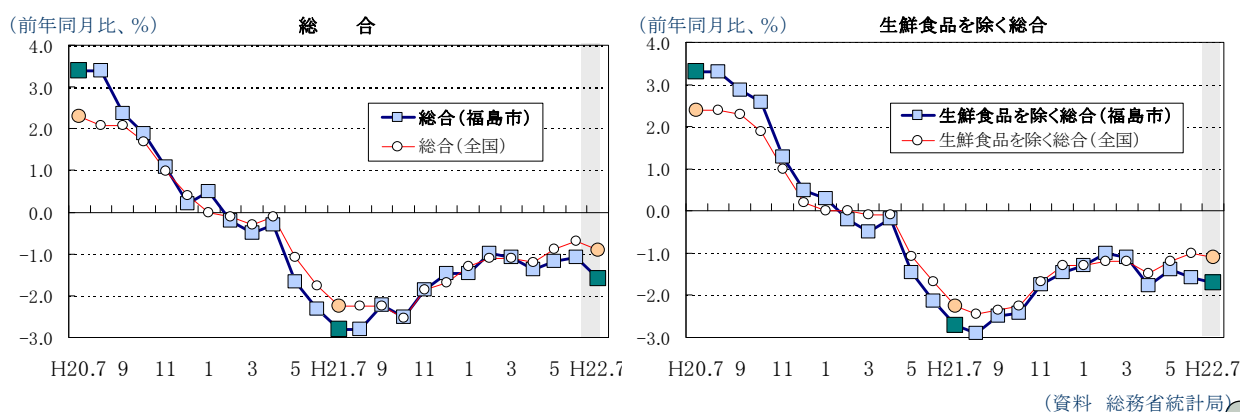


【国内企業物価指数】

出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

- ◆ 福島市消費者物価指数(7月)は98.8、対前年同月比1.6%減となり、18か月連続で前年を下回っている。また、生鮮食品を除く総合でみると98.9、対前年同月比1.7%減となっている。なお、対前月比は1.0%減となり、2か月連続で下落している。

消費者物価指数(福島市)(前年同月比)の推移



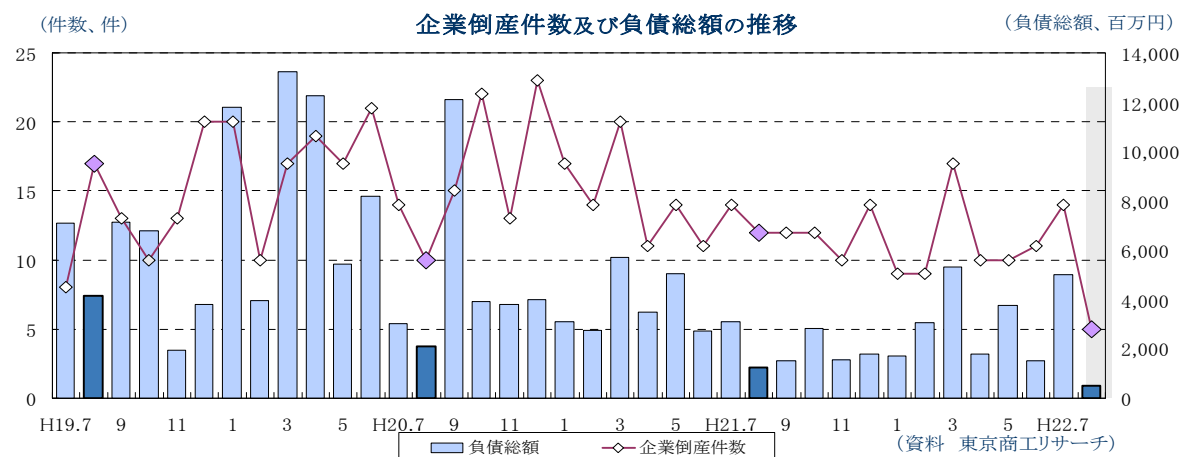
【消費者物価指数】

消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100と(現在は平成17年=100)固定して、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向を見えにくくなるので「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすことがあります。

(6) 企業・金融

- ◆ **企業倒産(8月)**は、件数が**5件**、対前年同月比で**58.3%減**となり、3か月振りに前年を下回っている。また、負債総額は**5億1,200万円**、対前年同月比で**59.2%減**となり、2か月振りに前年を下回っている。

倒産件数を業種別にみると、建設業が3件と最多となっている。



【企業倒産】

法的な定義はなく、官庁統計に集計したものではありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理(破産や会社更生手続、民事再生手続等)」と「任意整理(銀行取引停止処分、内整理)」の大きく2つに分けることができます。

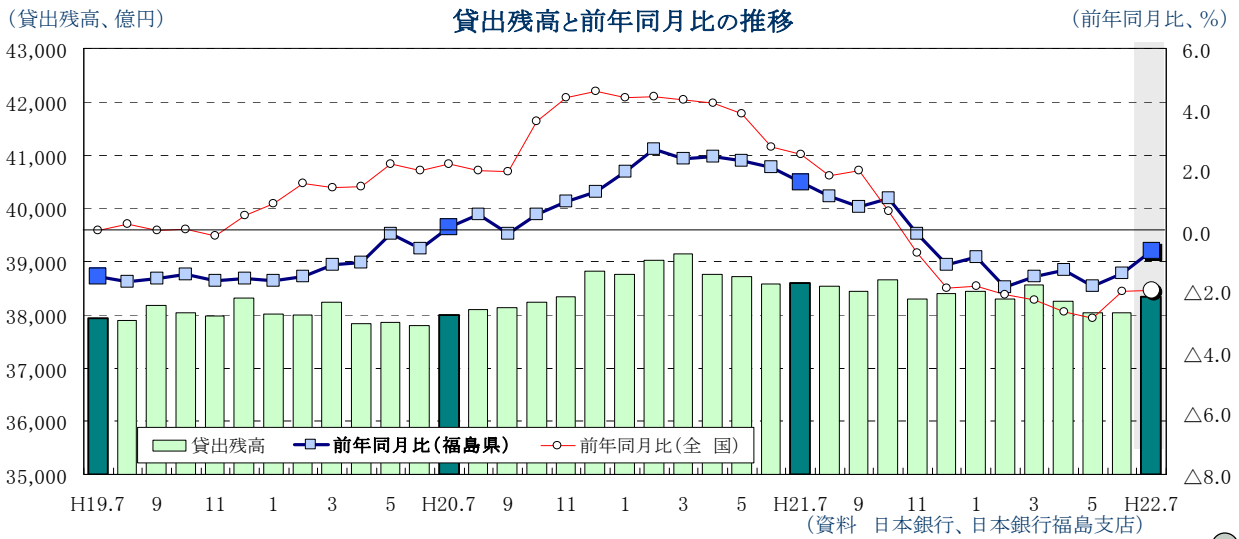
- ◆ **金融機関預金残高(7月)**は総額**6兆5,680億円**、対前年同月比**1.9%増**となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。



【預金残高】

預金残高の増減率は金融機関の信用力を示します。経営破綻が相次いで信用不安が起きれば、預金流出します。具体的な近年の例としては、法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します。増加する理由には逆のことがいえます。

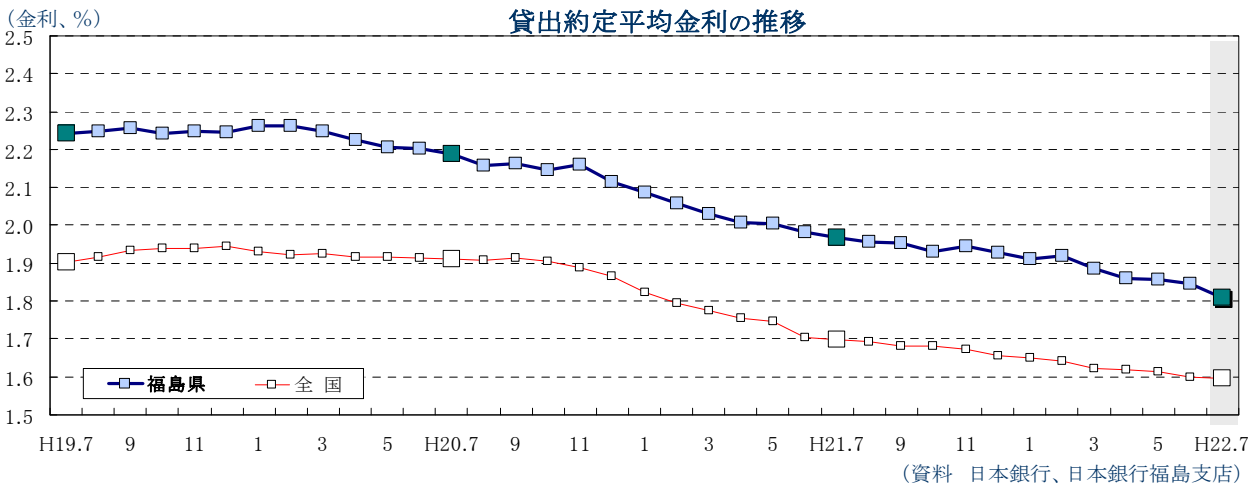
◆ 金融機関貸出残高(7月)は総額3兆8,341億円、対前年同月比0.7%減となり、9か月連続で前年を下回っている。



【貸出残高】

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。また、銀行の貸出余力が増えれば貸出残高は増加します。具体的な近年の例としては、法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

◆ 貸出約定平均金利(7月)は、1.809%、対前月差0.036ポイント低下し、5か月連続で前月を下回っている。

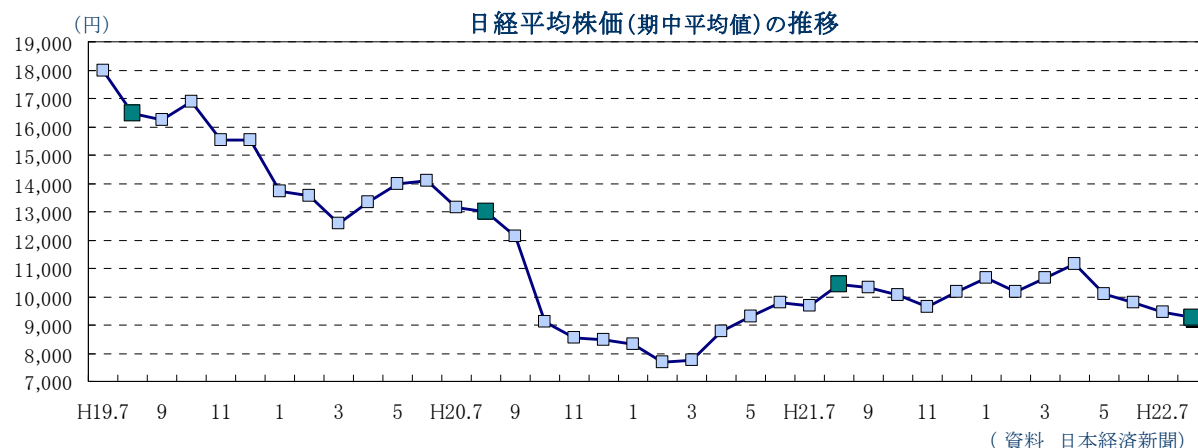


【貸出約定平均金利】

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したものです。銀行融資の金利が現実にはどのくらいになっているかを示す指標です。

(7) 市場

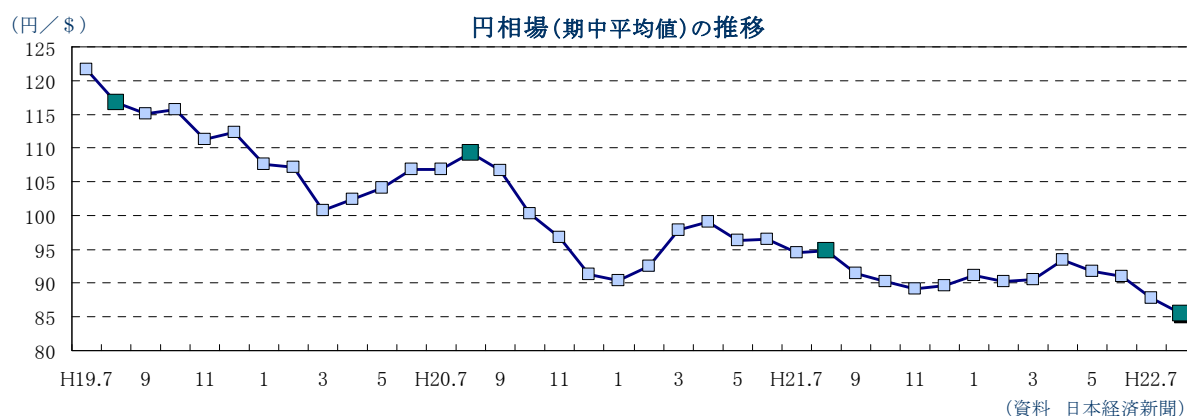
- ◆ 日経平均株価(8月)は9,268円24銭(期中平均値)、前月より188円60銭安となり、4か月連続で前月を下回っている。



【日経平均株価】

日本経済新聞社が東京証券取引所第一部に上場している225銘柄(定期的に入れ替え)を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない消費者や経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

- ◆ 円相場(8月)は85円47銭(期中平均値)、前月より2円25銭の円高となっている。



【円相場】

円とドルの交換比率(対ドルの為替レート)です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりしますし、減れば値下がります。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をします。「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となり、一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場が日本経済全体に与える影響はとて大きいいため、政府・日銀が介入する場合があります。

3 主要経済指標

区分 年月	個人消費				建設需要					
	1 大型小売店販売額				2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額	
	福島県 全店舗	福島県 既存店	全国 全店舗	全国 既存店	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
(百万円)	(百万円)	(億円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(戸)	(百万円)	(億円)	
H19年	230,215	-	211,988	-	70,420	4,400	11,721	1,060,741	194,217	117,818
20	232,395	-	209,511	-	68,798	4,228	11,853	1,093,485	199,653	117,951
21	226,470	-	197,758	-	62,867	3,924	9,657	788,410	-	-
20年IV	61,691	-	56,078	-	14,179	863	3,149	258,597	51,233	27,990
21年I	56,638	-	49,087	-	17,069	1,044	2,275	199,619	32,136	28,338
II	55,695	-	48,156	-	13,036	800	2,435	197,271	48,580	32,131
III	55,003	-	47,999	-	16,109	1,050	2,418	186,904	72,345	36,888
IV	59,133	-	52,515	-	16,653	1,030	2,529	204,616	50,658	29,765
22年I	55,086	-	47,001	-	21,813	1,296	2,222	186,486	40,563	24,992
II	54,092	-	46,754	-	15,985	976	2,305	195,167	51,347	31,018
21年1月	20,329	-	18,063	-	4,494	256	733	70,688	9,032	6,019
2	16,899	-	14,513	-	5,056	325	783	62,303	4,755	6,349
3	19,410	-	16,510	-	7,519	463	759	66,628	18,349	15,969
4	18,500	-	15,954	-	3,952	236	744	66,198	15,631	13,288
5	19,358	-	16,180	-	3,884	245	770	62,805	9,411	7,866
6	17,837	-	16,022	-	5,200	319	921	68,268	23,538	10,977
7	18,567	-	17,356	-	5,479	372	872	65,974	26,572	12,511
8	19,200	-	15,704	-	4,067	264	804	59,749	14,397	10,063
9	17,236	-	14,939	-	6,563	414	742	61,181	31,376	14,314
10	17,905	-	15,609	-	5,764	340	835	67,120	21,558	12,665
11	18,023	-	16,215	-	6,265	369	837	68,198	15,555	8,441
12	23,205	-	20,691	-	4,624	322	857	69,298	13,545	8,658
22年1月	19,865	-	17,147	-	5,610	320	727	64,951	9,321	5,791
2	16,577	-	14,023	-	6,238	396	776	56,527	8,134	5,790
3	18,644	-	15,831	-	9,965	580	719	65,008	23,108	13,411
4	18,110	-	15,463	-	5,022	298	613	66,568	19,758	13,278
5	18,483	-	15,656	-	4,850	301	807	59,911	12,095	7,402
6	17,499	-	15,634	-	6,113	377	885	68,688	19,494	10,338
7	18,843	-	17,189	-	6,706	421	790	68,785	26,886	11,410
8	-	-	-	-	6,176	369	-	-	17,533	9,216

対前年同月(期)比(%)																				
H19年	△	0.1	△	1.1	△	0.3	△	1.0	△	5.7	△	5.2	△	10.4	△	17.8	△	4.9	△	4.1
20	△	0.9	△	1.1	△	1.2	△	2.5	△	2.3	△	3.9	△	1.1	△	3.1	△	2.8	△	0.1
21	△	2.5	△	5.0	△	5.6	△	7.0	△	8.6	△	7.2	△	18.5	△	27.9	△	-	△	-
20年IV	△	1.5	△	0.4	△	3.2	△	4.6	△	11.4	△	14.2	△	8.6	△	4.1	△	21.7	△	2.8
21年I	△	1.7	△	3.4	△	5.6	△	7.2	△	25.5	△	23.4	△	18.6	△	21.4	△	13.3	△	7.8
II	△	1.3	△	3.0	△	4.9	△	6.6	△	15.8	△	17.2	△	10.5	△	31.9	△	0.8	△	13.0
III	△	2.9	△	5.5	△	5.5	△	7.0	△	0.7	△	1.4	△	24.2	△	35.8	△	3.3	△	11.2
IV	△	4.1	△	7.8	△	6.4	△	7.0	△	17.4	△	19.3	△	19.7	△	20.9	△	1.1	△	6.3
22年I	△	2.7	△	6.4	△	4.2	△	4.9	△	27.8	△	24.1	△	2.3	△	6.6	△	26.2	△	11.8
II	△	2.9	△	5.1	△	2.9	△	3.5	△	22.6	△	22.0	△	5.3	△	1.1	△	5.7	△	3.5
21年1月	△	0.5	△	2.7	△	3.8	△	5.5	△	18.4	△	20.0	△	26.7	△	18.7	△	51.2	△	1.9
2	△	2.3	△	3.7	△	6.6	△	8.1	△	27.2	△	24.4	△	14.2	△	24.9	△	30.9	△	2.8
3	△	2.4	△	3.7	△	6.7	△	8.2	△	28.1	△	24.5	△	13.9	△	20.7	△	18.3	△	15.3
4	△	1.8	△	3.7	△	5.0	△	6.7	△	22.3	△	22.8	△	9.8	△	32.4	△	24.2	△	20.5
5	△	1.1	△	0.4	△	4.5	△	6.4	△	16.3	△	17.4	△	14.1	△	30.8	△	4.9	△	2.5
6	△	3.4	△	5.1	△	5.2	△	6.8	△	9.8	△	12.2	△	7.9	△	32.4	△	33.1	△	12.7
7	△	4.8	△	5.7	△	7.0	△	8.4	△	6.2	△	2.8	△	15.7	△	32.1	△	10.0	△	2.5
8	△	2.4	△	5.5	△	5.0	△	6.8	△	2.4	△	3.2	△	16.2	△	38.3	△	41.9	△	8.7
9	△	1.3	△	5.4	△	4.2	△	5.6	△	2.5	△	4.2	△	49.2	△	37.0	△	48.7	△	22.1
10	△	3.6	△	7.1	△	6.4	△	7.2	△	11.7	△	7.8	△	20.3	△	27.1	△	19.7	△	8.3
11	△	6.4	△	10.1	△	9.0	△	9.7	△	24.9	△	24.7	△	11.5	△	19.1	△	4.3	△	0.0
12	△	2.8	△	6.5	△	4.2	△	4.6	△	15.6	△	27.3	△	25.8	△	15.7	△	26.0	△	10.3
22年1月	△	2.3	△	6.4	△	5.1	△	5.7	△	24.8	△	24.9	△	0.8	△	8.1	△	3.2	△	3.8
2	△	1.9	△	5.7	△	3.4	△	4.0	△	23.4	△	21.9	△	0.9	△	9.3	△	71.1	△	8.8
3	△	3.9	△	7.1	△	4.1	△	4.9	△	32.5	△	25.2	△	5.3	△	2.4	△	25.9	△	16.0
4	△	2.1	△	4.6	△	3.1	△	3.7	△	27.1	△	26.4	△	17.6	△	0.6	△	26.4	△	0.1
5	△	4.5	△	7.2	△	3.2	△	3.9	△	24.9	△	23.0	△	4.8	△	4.6	△	28.5	△	5.9
6	△	1.9	△	3.5	△	2.4	△	3.1	△	17.6	△	18.1	△	3.9	△	0.6	△	17.2	△	5.8
7	△	1.5	△	1.1	△	1.0	△	1.3	△	22.4	△	12.9	△	9.4	△	4.3	△	1.2	△	8.8
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51.9	△	40.1	-	-	-	-	-	21.8	△	8.4
備考	百貨店とスーパーの計				乗用車、軽自動車の計				持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の計				年表示は、年度ベースの機関と地方の機関の計							
資料	「商業動態統計調査」				「新車登録台数実績表」				「月刊住宅着工統計」				「公共工事前払金保証統計」							
出所	経済産業省、東北経済産業局				自動車販売店協会、軽自動車協会				国土交通省				東日本建設保証株式会社							

区分	建設需要		生産活動												
	5業務用建築物着工棟数		6 鉱工業生産指数				7 鉱工業出荷指数				8 鉱工業在庫指数				
	年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
(棟)		(棟)	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	
H19年															
20	2,208	98,076	105.8	107.4	-	-	109.4	107.8	-	-	105.0	103.9	-	-	
21	2,140	92,870	102.3	103.8	-	-	108.5	104.3	-	-	118.5	106.7	-	-	
	1,654	76,743	79.7	81.1	-	-	84.8	82.1	-	-	110.1	97.2	-	-	
20年 IV	591	23,157	95.2	95.8	92.0	92.8	99.8	95.6	97.4	93.5	128.8	110.7	130.3	109.4	
21年 I	440	18,850	70.9	71.4	73.9	74.2	73.9	74.0	77.4	75.7	128.2	104.2	123.3	103.5	
II	378	18,426	73.5	76.2	76.5	79.0	79.7	76.0	82.4	79.5	105.3	95.3	109.1	97.1	
III	414	19,847	82.9	84.9	80.9	83.2	89.3	86.0	86.3	84.1	105.8	94.4	106.4	95.0	
IV	422	19,620	91.3	91.7	87.0	88.1	96.4	92.4	92.7	89.1	101.3	94.8	101.0	93.1	
22年 I	355	17,794	92.0	91.0	95.8	94.3	96.9	93.6	101.5	95.5	111.8	95.1	107.6	94.5	
II	374	19,126	91.3	92.2	95.0	95.7	96.7	92.6	100.0	97.0	120.1	94.3	124.5	96.1	
21年1月	137	6,554	67.0	70.2	76.1	78.1	66.7	69.8	77.5	78.1	133.9	110.6	127.3	107.2	
2	141	6,423	65.7	67.0	70.0	71.4	69.1	69.3	74.5	73.5	131.6	106.6	125.2	103.2	
3	162	5,873	80.0	77.1	75.7	73.0	86.0	82.9	80.3	75.5	119.0	95.3	117.3	100.0	
4	112	5,924	70.8	71.9	74.2	76.3	78.2	71.9	80.9	77.1	106.0	94.5	108.3	97.9	
5	86	5,558	68.3	72.6	76.8	79.8	73.3	71.5	82.3	79.7	105.8	96.2	110.6	97.3	
6	180	6,944	81.5	84.2	78.6	81.0	87.6	84.7	84.1	81.8	104.0	95.2	108.5	96.1	
7	155	7,298	86.6	85.9	80.5	81.9	91.6	86.5	86.4	82.9	107.2	95.7	106.5	95.5	
8	120	6,251	74.1	78.0	79.9	83.1	81.3	78.3	84.7	83.8	106.2	95.5	107.8	95.0	
9	139	6,298	88.0	90.8	82.3	84.6	94.9	93.3	87.9	85.6	103.9	92.1	104.8	94.4	
10	152	6,788	90.5	90.7	83.9	85.9	94.5	90.8	89.6	87.5	102.6	94.4	102.5	93.1	
11	123	6,435	92.0	91.7	87.4	88.1	95.8	91.3	92.8	88.8	101.1	97.0	101.0	93.2	
12	147	6,397	91.3	92.6	89.7	90.4	98.8	95.2	95.6	90.9	100.1	93.1	99.6	93.0	
22年1月	117	5,949	82.5	83.5	95.4	94.3	86.9	83.8	102.7	95.0	107.4	97.0	102.1	94.0	
2	112	5,799	88.7	88.0	94.6	93.7	91.6	89.4	98.7	94.8	110.8	98.6	105.4	95.5	
3	126	6,046	104.8	101.6	97.4	94.8	112.1	107.7	103.0	96.7	117.1	89.6	115.4	94.0	
4	136	6,142	88.4	90.5	92.6	96.0	93.1	91.4	96.3	98.1	123.4	91.3	126.1	94.6	
5	108	5,736	86.0	87.4	96.7	96.1	90.5	86.5	101.6	96.4	120.9	95.4	126.4	96.5	
6	130	7,248	99.4	98.8	95.8	95.0	106.4	100.0	102.1	96.6	116.1	96.3	121.1	97.2	
7	138	7,397	101.2	98.1	95.8	94.8	105.0	99.2	100.7	96.5	119.6	96.9	118.8	96.7	
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

	対前年同月(期)比(%)				対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)				対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比	
	△		△		△		△		△		△		△		△	
H19年	△ 17.5	△ 14.6	△ 3.4	△ 2.8	-	-	△ 5.6	△ 3.1	-	-	△ 4.2	△ 1.8	-	-	-	-
20	△ 3.1	△ 5.3	△ 3.3	△ 3.4	-	-	△ 0.8	△ 3.2	-	-	△ 12.9	△ 2.7	-	-	-	-
21	△ 22.7	△ 17.4	△ 22.1	△ 21.9	-	-	△ 21.8	△ 21.3	-	-	△ 7.1	△ 8.9	-	-	-	-
20年 IV	△ 8.4	△ 1.0	△ 14.6	△ 14.5	△ 10.2	△ 11.3	△ 14.0	△ 14.9	△ 10.6	△ 11.0	△ 22.7	△ 4.4	△ 9.7	△ 2.5	-	-
21年 I	△ 12.9	△ 13.8	△ 33.0	△ 34.6	△ 19.7	△ 20.0	△ 33.5	△ 33.5	△ 20.5	△ 19.0	△ 11.4	△ 1.3	△ 5.4	△ 5.4	-	-
II	△ 16.4	△ 20.5	△ 29.4	△ 27.4	△ 3.5	△ 6.5	△ 28.4	△ 27.3	△ 6.5	△ 5.0	△ 5.9	△ 8.5	△ 11.5	△ 6.2	-	-
III	△ 30.1	△ 19.5	△ 20.4	△ 19.4	△ 5.8	△ 5.3	△ 20.0	△ 18.8	△ 4.7	△ 5.8	△ 10.5	△ 11.0	△ 2.5	△ 2.2	-	-
IV	△ 28.6	△ 15.3	△ 4.1	△ 4.3	△ 7.5	△ 5.9	△ 3.4	△ 3.3	△ 7.4	△ 5.9	△ 21.4	△ 14.4	△ 5.1	△ 2.0	-	-
22年 I	△ 19.3	△ 5.6	△ 29.8	△ 27.5	△ 10.1	△ 7.0	△ 31.1	△ 26.5	△ 9.5	△ 7.2	△ 12.8	△ 8.7	△ 6.5	△ 1.5	-	-
II	△ 1.1	△ 3.8	△ 24.2	△ 21.0	△ 0.8	△ 1.5	△ 21.3	△ 21.8	△ 1.5	△ 1.6	△ 14.1	△ 1.0	△ 15.7	△ 1.7	-	-
21年1月	△ 12.7	△ 8.9	△ 32.2	△ 30.9	△ 10.0	△ 8.4	△ 34.5	△ 31.6	△ 12.6	△ 9.2	△ 17.6	△ 2.7	△ 3.1	△ 2.3	-	-
2	△ 23.4	△ 14.9	△ 37.5	△ 38.6	△ 8.0	△ 8.6	△ 37.4	△ 36.8	△ 3.9	△ 5.9	△ 15.4	△ 1.8	△ 1.6	△ 3.7	-	-
3	△ 1.2	△ 17.7	△ 29.5	△ 33.8	△ 8.1	△ 2.2	△ 29.0	△ 32.1	△ 7.8	△ 2.7	△ 1.4	△ 5.2	△ 6.3	△ 3.1	-	-
4	△ 26.3	△ 20.5	△ 32.4	△ 31.0	△ 2.0	△ 4.5	△ 29.4	△ 30.8	△ 0.7	△ 2.1	△ 8.9	△ 7.1	△ 7.7	△ 2.1	-	-
5	△ 30.1	△ 25.6	△ 31.5	△ 29.0	△ 3.5	△ 4.6	△ 32.1	△ 29.6	△ 1.7	△ 3.4	△ 2.7	△ 8.3	△ 2.1	△ 0.6	-	-
6	△ 1.7	△ 15.9	△ 24.4	△ 22.5	△ 2.3	△ 1.5	△ 24.0	△ 21.9	△ 2.2	△ 2.6	△ 6.1	△ 10.3	△ 1.9	△ 1.2	-	-
7	△ 27.2	△ 9.8	△ 22.3	△ 22.3	△ 2.4	△ 1.1	△ 20.3	△ 21.6	△ 2.7	△ 1.3	△ 11.0	△ 10.6	△ 1.8	△ 0.6	-	-
8	△ 18.4	△ 26.0	△ 21.3	△ 18.3	△ 0.7	△ 1.5	△ 22.9	△ 18.4	△ 2.0	△ 1.1	△ 9.2	△ 10.3	△ 1.2	△ 0.5	-	-
9	△ 40.1	△ 22.4	△ 17.7	△ 17.5	△ 3.0	△ 1.8	△ 17.0	△ 16.2	△ 3.8	△ 2.1	△ 11.3	△ 12.1	△ 2.8	△ 0.6	-	-
10	△ 26.6	△ 14.6	△ 14.1	△ 14.4	△ 1.9	△ 1.5	△ 12.3	△ 12.4	△ 1.9	△ 2.2	△ 20.3	△ 14.3	△ 2.2	△ 1.4	-	-
11	△ 43.1	△ 17.4	△ 3.4	△ 2.9	△ 4.2	△ 2.6	△ 5.0	△ 2.2	△ 3.6	△ 1.5	△ 21.3	△ 14.2	△ 1.5	△ 0.1	-	-
12	△ 12.5	△ 13.8	△ 7.5	△ 6.4	△ 2.6	△ 2.6	△ 8.9	△ 6.3	△ 3.0	△ 2.4	△ 22.5	△ 14.6	△ 1.4	△ 0.2	-	-
22年1月	△ 14.6	△ 9.2	△ 23.1	△ 18.9	△ 6.4	△ 4.3	△ 30.3	△ 20.1	△ 7.4	△ 4.5	△ 19.8	△ 12.3	△ 2.5	△ 1.1	-	-
2	△ 20.6	△ 9.7	△ 35.0	△ 31.3	△ 0.8	△ 0.6	△ 32.6	△ 29.0	△ 3.9	△ 0.2	△ 15.8	△ 7.5	△ 3.2	△ 1.6	-	-
3	△ 22.2	△ 2.9	△ 31.0	△ 31.8	△ 3.0	△ 1.2	△ 30.3	△ 29.9	△ 4.4	△ 2.0	△ 1.6	△ 6.0	△ 9.5	△ 1.6	-	-
4	△ 21.4	△ 3.7	△ 24.9	△ 25.9	△ 4.9	△ 1.3	△ 19.1	△ 27.1	△ 6.5	△ 1.4	△ 16.4	△ 3.4	△ 9.3	△ 0.6	-	-
5	△ 25.6	△ 3.2	△ 25.9	△ 20.4	△ 4.4	△ 0.1	△ 23.5	△ 21.0	△ 5.5	△ 1.7	△ 14.3	△ 0.8	△ 0.2	△ 2.0	-	-
6	△ 27.8	△ 4.4	△ 22.0	△ 17.3	△ 0.9	△ 1.1	△ 21.5	△ 18.1	△ 0.5	△ 0.2	△ 11.6	△ 1.2	△ 4.2	△ 0.7	-	-
7	△ 11.0	△ 1.4	△ 16.9	△ 14.2	△ 0.0	△ 0.2	△ 14.6	△ 14.7	△ 1.4	△ 0.1	△ 11.6	△ 1.3	△ 1.9	△ 0.5	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの		平成17年=100				平成17年=100				平成17年=100					
資料	「建築統計月報」		「鉱工業指数月報」福島県													
出所	国土交通省		経済産業省													

区分	生産活動		雇用・労働							
	9 大口電力使用量		10 新規求人倍率		11 有効求人倍率		12 有効求人数		13 有効求職者数	
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(千kWh)	(百万kWh)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)	(人)	(千人)	(人)	(千人)
H19年	6,702,016	296,027	1.30	1.51	0.89	1.04	30,607	2,180	34,445	2,094
20	7,064,775	298,666	0.96	1.25	0.68	0.88	25,123	1,832	36,828	2,091
21	5,846,105	251,791	0.67	0.79	0.36	0.47	18,113	1,309	50,502	2,762
20年 IV	1,655,779	70,570	0.78	1.04	0.56	0.74	23,133	1,681	37,461	2,101
21年 I	1,287,467	56,545	0.67	0.83	0.43	0.59	20,720	1,513	47,412	2,508
II	1,432,469	60,905	0.69	0.77	0.35	0.46	17,142	1,241	54,844	2,986
III	1,542,746	67,672	0.66	0.76	0.33	0.43	17,281	1,221	51,703	2,872
IV	1,583,423	66,669	0.67	0.79	0.33	0.43	17,308	1,260	48,050	2,684
22年 I	1,520,207	65,623	0.70	0.84	0.36	0.47	17,933	1,325	48,053	2,702
II	1,596,682	68,907	0.73	0.86	0.40	0.50	18,237	1,319	51,343	2,927
21年1月	454,429	19,471	0.71	0.91	0.47	0.65	21,107	1,549	43,548	2,307
2	409,551	18,038	0.63	0.78	0.42	0.58	20,573	1,511	47,013	2,486
3	423,487	19,036	0.67	0.79	0.39	0.53	20,481	1,478	51,674	2,732
4	457,826	19,359	0.68	0.79	0.36	0.48	18,262	1,334	55,461	3,000
5	470,692	19,980	0.71	0.75	0.35	0.46	16,787	1,192	54,390	2,970
6	503,951	21,566	0.68	0.78	0.34	0.45	16,376	1,198	54,680	2,987
7	529,203	23,037	0.68	0.77	0.34	0.43	17,134	1,199	53,657	2,947
8	488,791	22,097	0.65	0.75	0.33	0.42	16,715	1,198	51,222	2,859
9	524,752	22,538	0.66	0.77	0.33	0.43	17,995	1,267	50,229	2,809
10	535,796	22,727	0.65	0.78	0.33	0.43	18,253	1,308	50,277	2,806
11	523,813	21,991	0.66	0.78	0.33	0.43	17,522	1,271	48,180	2,692
12	523,814	21,951	0.71	0.81	0.33	0.43	16,150	1,202	45,692	2,556
22年1月	516,268	21,572	0.72	0.85	0.35	0.46	16,463	1,249	46,338	2,614
2	483,617	21,224	0.68	0.84	0.36	0.47	17,384	1,314	46,501	2,646
3	520,322	22,827	0.70	0.84	0.38	0.49	19,953	1,412	51,321	2,847
4	532,455	22,294	0.69	0.88	0.38	0.48	18,357	1,347	53,452	3,010
5	515,556	22,463	0.76	0.83	0.40	0.50	17,662	1,278	51,147	2,920
6	548,671	24,149	0.75	0.88	0.43	0.52	18,692	1,333	49,430	2,852
7	595,143	25,362	0.75	0.87	0.45	0.53	19,372	1,360	46,654	2,739
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前年同月(期)比(%)		対前月(期)(ポイント)						対前年同月(期)比(%)							
H19年	6.7	4.4	0.02	△	0.06	0.00	△	0.02	△	1.5	△	5.0	△	1.4	△	3.2
20	5.4	0.9	△	0.34	△	0.26	△	0.21	△	17.9	△	16.0	△	6.9	△	0.1
21	△	17.2	△	15.7	△	0.29	△	0.46	△	0.32	△	0.41	△	27.9	△	28.5
20年 IV	△	4.6	△	6.2	△	0.12	△	0.16	△	0.09	△	0.12	△	22.5	△	19.6
21年 I	△	26.4	△	23.2	△	0.11	△	0.21	△	0.13	△	0.15	△	24.2	△	24.8
II	△	19.6	△	18.9	△	0.02	△	0.06	△	0.08	△	0.12	△	32.7	△	33.3
III	△	17.8	△	14.7	△	0.03	△	0.01	△	0.02	△	0.04	△	29.5	△	31.1
IV	△	4.4	△	5.5	△	0.01	△	0.03	△	0.00	△	0.00	△	25.2	△	25.0
22年 I	△	18.1	△	16.1	△	0.03	△	0.05	△	0.03	△	0.04	△	13.5	△	12.4
II	△	11.5	△	13.1	△	0.03	△	0.02	△	0.04	△	0.03	△	6.4	△	6.3
21年1月	△	21.0	△	18.7	△	0.04	△	0.07	△	0.05	△	0.05	△	18.7	△	20.8
2	△	30.1	△	26.4	△	0.08	△	0.13	△	0.05	△	0.07	△	25.4	△	25.5
3	△	28.1	△	24.4	△	0.04	△	0.01	△	0.03	△	0.05	△	28.2	△	27.9
4	△	22.8	△	20.5	△	0.01	△	0.00	△	0.03	△	0.05	△	32.3	△	31.8
5	△	19.1	△	19.4	△	0.03	△	0.04	△	0.01	△	0.02	△	33.4	△	35.2
6	△	17.0	△	17.0	△	0.03	△	0.03	△	0.01	△	0.01	△	32.6	△	33.1
7	△	19.6	△	16.3	△	0.00	△	0.01	△	0.00	△	0.02	△	30.4	△	32.8
8	△	18.0	△	14.1	△	0.03	△	0.02	△	0.01	△	0.01	△	30.7	△	31.1
9	△	15.7	△	13.7	△	0.01	△	0.02	△	0.00	△	0.01	△	27.5	△	29.4
10	△	10.2	△	11.2	△	0.01	△	0.01	△	0.00	△	0.00	△	27.5	△	27.2
11	△	6.1	△	6.2	△	0.01	△	0.00	△	0.00	△	0.00	△	24.1	△	24.1
12	△	4.5	△	1.9	△	0.05	△	0.03	△	0.00	△	0.00	△	23.7	△	23.5
22年1月	△	13.6	△	10.8	△	0.01	△	0.04	△	0.02	△	0.03	△	22.0	△	19.4
2	△	18.1	△	17.7	△	0.04	△	0.01	△	0.01	△	0.01	△	15.5	△	13.0
3	△	22.9	△	19.9	△	0.02	△	0.00	△	0.02	△	0.02	△	2.6	△	4.4
4	△	16.3	△	15.2	△	0.01	△	0.04	△	0.00	△	0.01	△	0.5	△	1.0
5	△	9.5	△	12.4	△	0.07	△	0.05	△	0.02	△	0.02	△	5.2	△	7.2
6	△	8.9	△	12.0	△	0.01	△	0.05	△	0.03	△	0.02	△	14.1	△	11.3
7	△	12.5	△	10.1	△	0.00	△	0.01	△	0.02	△	0.01	△	13.1	△	13.4
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	県は東北電力、国は電力10社計		学卒を除きパートを含む。													
	四半期値は、月平均値		新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値 四半期値は各期ごとの平均													
資料	東北電力株式会社福島支店		「雇用失業情勢」													
出所	電気事業連合会		福島労働局職業安定部													

区分	雇用・労働										物価
	14 雇用保険受給者実人員		15 現金給与総額 指数(名目)		16 所定外労働時間指数		17 常用雇用指数		18 パートタイム 労働者比率		19 国内企業 物価指数
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国
	(人)	(千人)							(%)	(%)	
H19年	9,196	570	96.4	99.2	102.5	103.9	102.3	102.2	19.4	26.1	104.0
20	9,658	561	94.5	98.9	98.3	102.3	103.6	103.7	19.3	26.1	108.7
21	17,620	852	89.0	95.1	75.4	86.7	102.3	103.9	24.0	27.3	103.0
20年 IV	9,921	580	106.0	114.9	91.2	100.2	104.3	104.2	19.2	26.4	107.7
21年 I	14,747	701	78.0	81.7	71.3	84.6	102.2	103.3	23.9	27.2	104.2
II	20,585	945	90.5	97.6	71.6	84.3	102.6	104.0	24.2	27.0	102.8
III	19,112	958	85.9	90.8	77.8	85.5	101.8	104.1	23.2	27.4	102.8
IV	16,037	806	101.6	110.2	81.0	92.5	102.5	104.0	24.6	27.7	102.1
22年 I	13,682	710	77.9	81.7	83.9	93.1	100.8	103.4	25.1	27.6	102.4
II	12,438	691	93.6	98.9	86.6	93.4	101.7	104.2	23.1	27.5	103.0
21年1月	11,657	619	79.9	82.3	71.9	85.8	102.2	103.8	22.9	27.2	104.6
2	14,718	693	76.1	80.3	68.4	83.0	101.8	103.3	24.2	26.9	104.1
3	17,866	792	78.0	82.4	73.7	84.9	102.5	102.8	24.5	27.4	103.9
4	20,322	882	77.9	82.0	76.3	87.7	102.9	104.0	24.2	26.9	103.2
5	20,216	940	74.9	80.9	67.5	82.1	102.7	103.9	24.2	27.0	102.8
6	21,217	1,012	118.8	130.0	71.1	83.0	102.3	104.1	24.3	27.2	102.4
7	20,312	1,001	99.4	109.5	75.4	85.8	101.9	104.2	22.8	27.4	102.8
8	19,213	962	80.9	82.7	75.4	84.0	101.7	104.0	22.8	27.3	102.8
9	17,810	910	77.4	80.1	82.5	86.8	101.7	104.0	23.9	27.4	102.8
10	16,993	855	78.6	80.6	86.0	90.6	101.5	104.0	23.6	27.5	102.1
11	15,838	797	79.4	83.9	78.1	92.5	103.1	104.0	24.9	27.7	102.1
12	15,280	766	146.9	166.1	78.9	94.3	102.8	104.1	25.4	27.9	102.1
22年1月	14,310	731	77.7	82.1	75.4	89.6	100.7	103.6	25.6	27.6	102.3
2	13,610	703	76.1	79.7	85.1	92.5	100.3	103.5	25.5	27.6	102.4
3	13,125	696	79.8	83.2	91.2	97.2	101.3	103.0	24.2	27.6	102.6
4	12,790	678	79.3	83.3	93.9	98.1	102.5	104.1	23.3	27.4	103.0
5	11,699	670	77.1	81.0	81.6	90.6	101.2	104.3	22.5	27.4	103.2
6	12,825	725	124.4	132.4	84.2	91.5	101.5	104.3	23.4	27.6	102.8
7	12,432	721	99.0	111.0	92.1	95.3	101.9	104.7	23.9	28.0	102.8
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	P 102.8

区分	対前年同月(期)比(%)										対前月(期)(ポイント)		対前年同月(期)比(%)
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	
H19年	△ 3.1	△ 3.9	△ 5.2	△ 1.0	△ 7.2	△ 1.3	△ 2.0	△ 1.6	△ 3.4	△ 0.6	△ 1.8		
20	△ 5.0	△ 1.6	△ 2.0	△ 0.3	△ 4.1	△ 1.5	△ 1.3	△ 1.5	△ 0.1	△ 0.0	△ 4.5		
21	82.4	51.9	△ 5.8	△ 3.8	△ 23.3	△ 15.2	△ 1.3	△ 0.2	△ 4.7	△ 1.2	△ 5.2		
20年 IV	11.1	2.5	△ 4.6	△ 1.2	△ 15.9	△ 6.6	△ 1.2	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.2	△ 2.6		
21年 I	73.3	34.9	△ 5.3	△ 3.0	△ 30.0	△ 19.7	△ 0.1	△ 0.6	△ 4.7	△ 0.8	△ 1.9		
II	109.7	74.9	△ 8.1	△ 4.7	△ 29.5	△ 18.2	△ 1.3	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.2	△ 5.5		
III	84.0	58.3	△ 5.6	△ 3.6	△ 21.0	△ 14.9	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.0	△ 0.4	△ 8.3		
IV	61.6	39.0	△ 4.2	△ 4.1	△ 11.2	△ 7.7	△ 1.7	△ 0.2	△ 1.4	△ 0.3	△ 5.2		
22年 I	△ 7.2	△ 1.2	△ 0.1	△ 0.0	△ 17.7	△ 10.0	△ 1.4	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.1	△ 1.7		
II	△ 39.6	△ 26.9	△ 3.4	△ 1.3	△ 20.9	△ 10.8	△ 0.9	△ 0.2	△ 2.0	△ 0.1	△ 0.2		
21年1月	35.1	14.2	△ 2.9	△ 2.7	△ 23.9	△ 14.4	△ 0.1	△ 0.9	△ 3.5	△ 0.7	△ 0.9		
2	73.3	33.8	△ 6.4	△ 2.4	△ 35.2	△ 21.7	△ 0.4	△ 0.5	△ 1.3	△ 0.3	△ 2.0		
3	112.5	58.7	△ 6.6	△ 3.9	△ 30.3	△ 22.7	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.6	△ 2.6		
4	122.5	76.4	△ 6.3	△ 2.7	△ 27.4	△ 18.9	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.6	△ 4.1		
5	102.2	70.3	△ 7.2	△ 2.5	△ 33.0	△ 18.4	△ 1.3	△ 0.1	△ 0.0	△ 0.1	△ 5.6		
6	105.7	78.2	△ 9.9	△ 7.0	△ 28.3	△ 17.6	△ 1.6	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 6.8		
7	89.4	64.6	△ 5.6	△ 5.6	△ 25.4	△ 16.4	△ 2.1	△ 0.1	△ 1.5	△ 0.2	△ 8.5		
8	87.0	60.1	△ 7.2	△ 2.7	△ 23.5	△ 14.2	△ 2.2	△ 0.1	△ 0.0	△ 0.1	△ 8.5		
9	75.3	50.2	△ 3.9	△ 1.8	△ 14.1	△ 14.1	△ 1.9	△ 0.1	△ 1.1	△ 0.1	△ 8.0		
10	70.4	43.2	△ 2.5	△ 1.9	△ 8.0	△ 11.2	△ 2.6	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 6.8		
11	66.2	43.1	△ 5.6	△ 2.4	△ 18.2	△ 8.5	△ 1.2	△ 0.2	△ 1.3	△ 0.2	△ 5.0		
12	48.9	30.7	△ 4.2	△ 5.9	△ 6.8	△ 3.2	△ 1.4	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.1	△ 3.9		
22年1月	22.8	18.1	△ 2.8	△ 0.2	△ 4.9	△ 4.4	△ 1.5	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 2.2		
2	△ 7.5	△ 1.4	△ 0.0	△ 0.7	△ 24.4	△ 11.4	△ 1.5	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.0	△ 1.6		
3	△ 26.5	△ 12.1	△ 2.3	△ 1.0	△ 23.7	△ 14.5	△ 1.2	△ 0.2	△ 1.3	△ 0.0	△ 1.3		
4	△ 37.1	△ 23.1	△ 1.8	△ 1.6	△ 23.1	△ 11.9	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.9	△ 0.3	△ 0.2		
5	△ 42.1	△ 28.7	△ 2.9	△ 0.1	△ 20.9	△ 10.4	△ 1.5	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.4		
6	△ 39.6	△ 28.4	△ 4.7	△ 1.8	△ 18.4	△ 10.2	△ 0.8	△ 0.2	△ 0.9	△ 0.2	△ 0.4		
7	△ 38.8	△ 28.0	△ 0.4	△ 1.4	△ 22.1	△ 11.1	△ 0.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.0		
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	P 0.0		
備考	四半期値は各期ごとの平均		全産業5人以上 平成17年=100				全産業5人以上 平成17年=100、平成16年の前年同期(月)比は、旧産業集計に				(国内総平均) 平成17年=100		
資料			「毎月労働統計調査結果速報」福島県								「経済統計月報」		
出所			厚生労働省								日本銀行		

区分	物価				企業・金融							
	20 消費者物価指数				21 企業倒産				22 金融機関預貸残高			
	福島市		全国		福島県		全国		福島県		全国	
年月	総合	生鮮食品 を除く総合	総合	生鮮食品 を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高
					(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)
H19年	100.4	100.4	100.3	100.1	143	116,677	14,091	57,279	62,256	38,325	54,504	41,764
20	102.4	102.4	101.7	101.6	201	83,773	15,646	122,920	63,665	38,818	55,706	43,685
21	100.8	100.9	100.3	100.3	161	34,884	15,480	69,301	64,985	38,393	56,949	42,857
20年 IV	102.3	102.6	101.9	101.7	58	11,692	4,068	22,164	63,665	38,818	55,706	43,685
21年 I	101.1	101.0	100.6	100.5	51	11,596	4,215	31,464	63,106	39,140	56,775	43,754
II	101.1	101.1	100.6	100.5	36	11,266	3,954	15,389	65,027	38,582	57,099	43,059
III	100.8	100.8	100.3	100.1	38	5,871	3,782	9,640	63,832	38,437	56,597	42,909
IV	100.3	100.7	99.8	99.9	36	6,151	3,529	12,808	64,985	38,393	56,949	42,857
22年 I	99.9	99.8	99.4	99.3	35	10,069	3,467	33,530	64,864	38,562	58,072	42,761
II	99.8	99.5	99.7	99.3	31	7,096	3,323	8,851	66,138	38,043	58,214	42,202
21年1月	101.4	101.1	100.7	100.5	17	3,115	1,360	8,390	62,925	38,759	55,496	43,374
2	100.8	100.8	100.4	100.4	14	2,764	1,318	12,292	63,233	39,015	55,907	43,456
3	101.0	101.0	100.7	100.7	20	5,717	1,537	10,782	63,106	39,140	56,775	43,754
4	101.2	101.2	100.8	100.7	11	3,499	1,329	5,219	64,080	38,753	56,771	43,378
5	101.1	101.1	100.6	100.5	14	5,033	1,203	5,399	64,193	38,727	56,597	43,309
6	100.9	101.0	100.4	100.3	11	2,734	1,422	4,771	65,027	38,582	57,099	43,059
7	100.4	100.6	100.1	100.1	14	3,108	1,386	3,710	64,421	38,596	56,503	42,910
8	100.7	100.5	100.4	100.1	12	1,256	1,241	2,842	64,517	38,541	56,426	42,651
9	101.3	101.2	100.4	100.2	12	1,507	1,155	3,088	63,832	38,437	56,597	42,909
10	100.7	101.0	100.0	100.1	12	2,812	1,261	2,903	64,180	38,650	56,201	42,651
11	100.3	100.7	99.8	99.9	10	1,551	1,132	6,948	64,238	38,296	56,662	42,537
12	100.0	100.4	99.6	99.8	14	1,788	1,136	2,956	64,985	38,393	56,949	42,857
22年1月	99.9	99.8	99.4	99.2	9	1,700	1,063	26,032	64,464	38,428	56,776	42,593
2	99.8	99.8	99.3	99.2	9	3,067	1,090	4,388	64,717	38,300	56,994	42,554
3	99.9	99.9	99.6	99.5	17	5,302	1,314	3,109	64,864	38,562	58,072	42,761
4	99.8	99.4	99.6	99.2	10	1,795	1,154	2,700	65,274	38,261	57,945	42,227
5	99.9	99.7	99.7	99.3	10	3,770	1,021	3,313	65,354	38,030	58,063	42,071
6	99.8	99.4	99.7	99.3	11	1,531	1,148	2,838	66,138	38,043	58,214	42,202
7	98.8	98.9	99.2	99.0	14	5,001	1,066	2,753	65,680	38,341	57,625	42,072
8	-	-	-	-	5	512	1,064	1,889	-	-	-	-

	対前年同月(期)比(%)											
	総合	生鮮食品 を除く総合	総合	生鮮食品 を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高
H19年	0.2	0.1	0.0	0.0	△ 2.1	60.1	6.4	4.1	1.8	△ 1.6	3.1	0.5
20	2.0	2.0	1.4	1.5	40.6	△ 28.2	11.0	114.6	2.3	1.3	2.2	4.6
21	△ 1.6	△ 1.5	△ 1.4	△ 1.3	△ 19.9	△ 58.3	△ 1.1	△ 43.6	2.1	△ 1.1	2.2	△ 1.9
20年 IV	1.0	1.4	1.1	1.0	34.9	△ 6.5	13.9	58.9	2.3	1.3	2.2	4.6
21年 I	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	8.5	△ 60.0	13.5	121.7	2.5	2.4	2.8	4.3
II	△ 1.4	△ 1.3	△ 1.0	△ 1.0	△ 36.8	△ 56.5	3.3	△ 12.6	2.3	2.1	2.4	2.8
III	△ 2.6	△ 2.7	△ 2.2	△ 2.3	△ 2.6	△ 65.9	△ 6.2	△ 86.0	2.1	0.8	2.5	2.0
IV	△ 2.0	△ 1.9	△ 2.1	△ 1.8	△ 37.9	△ 47.4	△ 13.2	△ 42.2	2.1	△ 1.1	2.2	△ 1.9
22年 I	△ 1.2	△ 1.2	△ 1.2	△ 1.2	△ 31.4	△ 13.2	△ 17.7	6.6	2.8	△ 1.5	2.3	△ 2.3
II	△ 1.3	△ 1.6	△ 0.9	△ 1.2	△ 13.9	△ 37.0	△ 16.0	△ 42.5	-	-	2.0	△ 2.0
21年1月	0.5	0.3	0.0	0.0	△ 15.0	△ 73.5	15.8	44.3	2.2	1.9	2.0	4.4
2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	0.0	40.0	△ 30.1	10.3	236.5	2.6	2.7	2.4	4.4
3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.1	17.6	△ 56.8	14.1	127.9	2.5	2.4	2.8	4.3
4	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	△ 42.1	△ 71.4	9.3	△ 27.3	2.9	2.4	2.6	4.2
5	△ 1.7	△ 1.5	△ 1.1	△ 1.1	△ 17.6	△ 7.2	△ 6.7	1.8	2.8	2.3	2.5	3.8
6	△ 2.3	△ 2.1	△ 1.8	△ 1.7	△ 47.6	△ 66.6	7.4	△ 3.0	2.3	2.1	2.4	2.8
7	△ 2.8	△ 2.7	△ 2.2	△ 2.2	0.0	2.5	1.0	△ 44.2	2.2	1.6	2.3	2.5
8	△ 2.8	△ 2.9	△ 2.2	△ 2.4	20.0	△ 39.9	△ 1.0	△ 67.2	2.1	1.1	2.4	1.8
9	△ 2.2	△ 2.5	△ 2.2	△ 2.3	△ 20.0	△ 87.5	△ 17.9	△ 94.2	2.1	0.8	2.5	2.0
10	△ 2.5	△ 2.4	△ 2.5	△ 2.2	△ 45.4	△ 27.8	△ 11.1	△ 71.1	3.0	1.1	2.5	0.6
11	△ 1.9	△ 1.8	△ 1.9	△ 1.7	△ 23.0	△ 59.0	△ 11.3	20.6	2.4	△ 0.1	2.2	△ 0.7
12	△ 1.5	△ 1.5	△ 1.7	△ 1.3	△ 39.1	△ 55.3	△ 16.5	△ 53.2	2.1	△ 1.1	2.2	△ 1.9
22年1月	△ 1.5	△ 1.3	△ 1.3	△ 1.3	△ 47.0	△ 45.4	△ 21.8	210.2	2.5	△ 0.9	2.3	△ 1.8
2	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.1	△ 1.2	△ 35.7	10.9	△ 17.2	△ 64.2	2.4	△ 1.8	1.9	△ 2.1
3	△ 1.1	△ 1.1	△ 1.1	△ 1.2	△ 15.0	△ 7.2	△ 14.5	△ 71.1	2.8	△ 1.5	2.3	△ 2.3
4	△ 1.4	△ 1.8	△ 1.2	△ 1.5	△ 9.1	△ 48.7	△ 13.1	△ 48.2	1.9	△ 1.3	2.1	△ 2.7
5	△ 1.2	△ 1.4	△ 0.9	△ 1.2	△ 28.6	△ 25.1	△ 15.1	△ 38.6	1.8	△ 1.8	2.6	△ 2.9
6	△ 1.1	△ 1.6	△ 0.7	△ 1.0	0.0	△ 44.0	△ 19.3	△ 40.5	1.7	△ 1.4	2.0	△ 2.0
7	△ 1.6	△ 1.7	△ 0.9	△ 1.1	0.0	△ 60.9	△ 23.0	△ 25.7	1.9	△ 0.7	2.0	△ 2.0
8	-	-	-	-	△ 58.3	△ 59.2	△ 14.3	△ 33.5	-	-	-	-
備考	平成17年=100				負債総額1,000万円以上				年・期・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫・信用組合の計 国の預金残高は実質預金			
資料	「消費者物価指数」総務省統計局				「福島県企業倒産状況」株式会社東京商工リサーチ福島支店・郡山支店				県・国ともオフショア勘定を含む。			
出所	「全国企業倒産状況」株式会社東京商工リサーチ				「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「金融経済統計月報」日本銀行							

区分	企業・金融		中小企業の業況							市場	
	23 貸出約定平均金利		24 中小企業業況判断DI							25 株式	26 円相場
	福島県	全国	福島県							株価	東京市場 米ドルスポット
地元地銀 3行	国内銀行	全産業	製造業	非製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	東証株式 (第1部)		
年月	(%)	(%)								(円)	(円/米ドル)
H19年	2.245	1.945	-	-	-	-	-	-	-	16,996.33	117.77
20	2.116	1.865	-	-	-	-	-	-	-	12,150.80	103.39
21	1.928	1.655	-	-	-	-	-	-	-	9,339.28	93.64
20年 IV	2.116	1.865	-	-	-	-	-	-	-	8,719.29	96.18
21年 I	2.029	1.776	-	-	-	-	-	-	-	7,924.67	93.74
II	1.982	1.703	-	-	-	-	-	-	-	9,302.19	97.31
III	1.954	1.680	-	-	-	-	-	-	-	10,128.98	93.69
IV	1.928	1.655	-	-	-	-	-	-	-	9,962.39	89.70
22年 I	1.886	1.623	-	-	-	-	-	-	-	10,511.18	90.65
II	1.845	1.599	-	-	-	-	-	-	-	10,345.90	92.01
21年1月	2.087	1.824	-	-	-	-	-	-	-	8,331.49	90.41
2	2.059	1.795	-	-	-	-	-	-	-	7,694.78	92.50
3	2.029	1.776	△ 70.6	△ 78.5	△ 63.8	△ 57.1	△ 71.9	△ 57.9	△ 68.2	7,764.58	97.87
4	2.007	1.756	-	-	-	-	-	-	-	8,767.96	99.00
5	2.004	1.746	-	-	-	-	-	-	-	9,304.43	96.30
6	1.982	1.703	△ 69.9	△ 78.9	△ 62.3	△ 66.6	△ 64.2	△ 59.3	△ 61.2	9,810.31	96.52
7	1.968	1.697	-	-	-	-	-	-	-	9,691.12	94.50
8	1.957	1.694	-	-	-	-	-	-	-	10,430.35	94.84
9	1.954	1.680	△ 64.6	△ 73.6	△ 56.1	△ 59.0	△ 55.0	△ 61.7	△ 47.4	10,302.87	91.49
10	1.932	1.680	-	-	-	-	-	-	-	10,066.24	90.29
11	1.944	1.674	-	-	-	-	-	-	-	9,640.99	89.19
12	1.928	1.655	△ 53.7	△ 42.8	△ 64.0	△ 66.6	△ 69.4	△ 60.5	△ 61.4	10,169.01	89.55
22年1月	1.910	1.649	-	-	-	-	-	-	-	10,661.62	91.16
2	1.918	1.641	-	-	-	-	-	-	-	10,175.13	90.28
3	1.886	1.623	△ 26.7	△ 6.0	△ 44.6	△ 67.5	△ 42.2	△ 41.4	△ 36.6	10,671.49	90.52
4	1.860	1.618	-	-	-	-	-	-	-	11,139.77	93.38
5	1.857	1.614	-	-	-	-	-	-	-	10,103.98	91.74
6	1.845	1.599	△ 20.8	3.7	△ 41.0	△ 62.8	△ 40.9	△ 37.5	△ 31.3	9,786.05	90.92
7	1.809	1.597	-	-	-	-	-	-	-	9,456.84	87.72
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9,268.24	85.47

	対前月(期)										
H19年	0.080	0.179	-	-	-	-	-	-	-	885.95	1.46
20	△ 0.129	△ 0.080	-	-	-	-	-	-	-	△ 4,845.53	△ 14.38
21	△ 0.188	△ 0.210	-	-	-	-	-	-	-	△ 2,811.52	△ 9.75
20年 IV	△ 0.047	△ 0.048	-	-	-	-	-	-	-	△ 4,057.90	△ 11.44
21年 I	△ 0.087	△ 0.089	-	-	-	-	-	-	-	△ 794.63	△ 2.44
II	△ 0.047	△ 0.073	-	-	-	-	-	-	-	1,377.53	3.57
III	△ 0.028	△ 0.023	-	-	-	-	-	-	-	826.78	△ 3.62
IV	△ 0.026	△ 0.025	-	-	-	-	-	-	-	△ 166.59	△ 4.00
22年 I	△ 0.042	△ 0.032	-	-	-	-	-	-	-	548.79	0.95
II	-	△ 0.024	-	-	-	-	-	-	-	△ 165.28	1.36
21年1月	△ 0.029	△ 0.041	-	-	-	-	-	-	-	△ 132.13	△ 0.87
2	△ 0.028	△ 0.029	-	-	-	-	-	-	-	△ 636.71	2.09
3	△ 0.030	△ 0.019	2.8	0.9	4.6	7.3	△ 9.4	14.8	2.3	69.80	5.37
4	△ 0.022	△ 0.020	-	-	-	-	-	-	-	1,003.38	1.13
5	△ 0.003	△ 0.010	-	-	-	-	-	-	-	536.47	△ 2.70
6	△ 0.022	△ 0.043	0.7	△ 0.4	1.5	△ 9.5	7.7	△ 1.4	7.0	505.88	0.22
7	△ 0.014	△ 0.006	-	-	-	-	-	-	-	△ 119.19	△ 2.02
8	△ 0.011	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	739.23	0.34
9	△ 0.003	△ 0.014	5.3	5.3	6.2	7.6	9.2	△ 2.4	13.8	△ 127.48	△ 3.35
10	△ 0.022	0.000	-	-	-	-	-	-	-	△ 236.63	△ 1.20
11	0.012	△ 0.006	-	-	-	-	-	-	-	△ 425.25	△ 1.10
12	△ 0.016	△ 0.019	10.9	30.8	△ 7.9	△ 7.6	△ 14.4	1.2	△ 14.0	528.02	0.36
22年1月	△ 0.018	△ 0.006	-	-	-	-	-	-	-	492.61	1.61
2	0.008	△ 0.008	-	-	-	-	-	-	-	△ 486.49	△ 0.88
3	△ 0.032	△ 0.018	27.0	36.8	19.4	△ 0.9	27.2	19.1	24.8	496.36	0.24
4	△ 0.026	△ 0.005	-	-	-	-	-	-	-	468.28	2.86
5	△ 0.003	△ 0.004	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,035.79	△ 1.64
6	△ 0.012	△ 0.015	5.9	9.7	3.6	4.7	1.3	3.9	5.3	△ 317.93	△ 0.82
7	△ 0.036	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	△ 329.21	△ 3.20
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 188.60	△ 2.25
備考	(総合) 年・月末残ベース		前年同期(月)と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値 (四半期月末時点)							日経平均(225種) (期中平均値)	(期中平均値)
資料 出所	「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「金融経済統計月報」日本銀行		財団法人福島県産業振興センター							日本経済新聞社	日本経済新聞社

食品製造業

(1) 豆腐油揚:

猛暑の夏で製造は好転して一息ついている状況であるが取引条件は厳しいまま続いている。秋口にはこの未曾有の高温で農作物の収穫に影響が出て来つつある。現に大豆の需給バランスが中国の経済発展により崩れ、食用油相場の高止まりを起し、さらに今夏の農作物収量の減少の要因が拍車をかけ、卸売商社などから高値圧力の情報も入っていて、円高なれども原料高という方向になっている。生産の増加に対して、原価の低下よりも原油高の要素が大きいのではないかと?

(2) パン:

この夏の猛暑による販売不振は大変な問題になりそうです。

(3) 味噌醤油:

昨年度の同月比からみても、組合員全体の味噌・醤油の出荷の動きが思わしくなかった。猛暑続きの影響も要因の一つになると考えられるが、消費者意識の変化などが要因になっているのか、難しい問題です。今後の状況がどうなるのか、様子を見ていくしかないのか先行き不安であります。

(4) 乾麺:

- ・猛暑が続くので返品は少なくなりそう。
- ・残暑が続けば、秋冬物(うどん)の出荷が2、3週間遅れる。

(5) 酒造:

売上げの落ち込みが大きい。景況の上昇の兆しが見えない。東京でのイベントは好調であるが(満員御礼)、なかなか消費に結び付かない。

繊維・同製品

(6) ニット:

8月、9月、10月の時期に受注が集中しており、この3ヶ月は前年度よりも好転しているが、11月、12月の売上の見通しが不透明である。

木材・木製品製造業

(7) 製材業:

秋季の素材伐採時期を見据えて、素材の動きは鈍く価格も低調であったが、ここに来て、一部素材においては秋需を期待し動きが見られる。

(8) 外材輸入:

8月は為替円高、製品先安感の中で買い控え。荷動きは低調に推移した。

紙・紙加工品製造業

(9) 紙器・段ボール箱:

いくらか景気上向きということを知りようになりましたが、まだまだ我々業界は激動の時代の真っ只中にあると思われる。そんな時代に開かれた組合を目指し、様々な情報が共有できる環境を整備して組合員一丸となって乗り越えていこうと努力している状況である。

印刷

(10) 印刷:

県全体的に売上が低調で低価格が続いている。参議院選挙広報は前回(3年前)の約1/2で落札しているのが現状です。

窯業・土石製品製造業

(11) 砕石(県北地区):

1. 売上高、前月比4.3%の増(数量において571m³の増)
 2. 売上高、前年同月比14.7%の増(数量において1,770m³の増)
 3. 数量の前年同月比(累積)0.2%の減(数量において124m³の減)
 4. 再生骨材の代用品の前年同月比(累積)17.0%の減(数量において3,774m³の減)
- 規格品については前年と同様の出荷量となったが全体的に見ると若干の減少となった。

(12) 生コン:

平成22年8月の組合員生コン出荷数量は対前年同期比1.4%の減少であった。出荷数量の内訳は、官公需が対前年比19.2%減少し、民需は9.1%と若干の増加が見られた。なお、出荷数量減少傾向の中で出荷が増加した地区は下記の通り。

民需の増加した地区:

県北地区 56.2%の増

オイルシール工場増設工事、

紡績工場増設工事等

白河地区 7.1%の増

建売住宅4棟、運輸倉庫新築工事等

いわき地区 81.2%の増

火力発電増設工事、ホテル増設工事等

会津地区 49.9%の増

病院新築工事等

官公需の増加した地区:

白河地区 19.9%の増

国道整備、小学校耐震工事等

県中地区 14.0%の増

病院改築、国道改装工事、

橋梁補強工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

(13) 鉄鋼(郡山地区):
仕事量は少し多くなっているが、受注価格が厳しく収益が悪化し、先行不安。

(14) 各種プラント機器:
当組合のプラント設備関連業界は、見積引合は前月同様横這いの状況となっており、各社とも案件が少なく受注確立が低い。従って、今月も売上高・収益状況は前月と同様に厳しい状況である。

(15) 電子工業:
通年クリスマス商戦にて9月～10月の受注は上向き傾向になるが、今年は全然、その様な状況になっておりません。従って、11月以降2月～3月迄は一段と受注減少が進み工場の縮小が増え、さらに失業者も増加すると考えます。

精密機械製造

(16) 8月は夏休みシーズンで、出荷量も調整されました。

卸売業

(17) 卸売業(県中地区):
前月に引き続き猛暑の影響で季節商品(特に、飲料水を始めとする食品関連)の売り上げが好調。その分秋物商品の出足が鈍っている。

(18) 再生資源:
8月は、夏休みの企業も多く、相変わらず酷暑続きで取扱商品も減少続きのところ、新規参入のあやしげな業者がかけまわって、正當に、正當に業として永年やって来た業者が泣いて居ります。中国向け雑屑や家電製品のリサイクル法をくぐり抜けた回収が続く限り、又、製紙原料も人の目を盗んで集めて歩く限り、これからも苦しいでしょう。

小売業

(19) 共同店舗(浜通り地区のOショッピングセンター):

売上高(昨年対比3.4%の減)客数(昨年対比1.4%の減)の両者とも前年を下回ったものの、8月は目立ったイベントを実施しなかったにも拘らず、落ち込み幅が小さかった。

館内の業種別での売上高の推移では、依然として家庭用品関係・婦人用品の売上は厳しい状況にある。

(20) 共同店舗(県中地区のNショッピングセンター):

お盆まではいいペースだったのですが、お盆過ぎから落ち込んでしまいました。予想していた通りだったのですが…暑さが続きすぎ…ですね。早く秋物が欲しくなるような季節になるといいのですが。と、勝手なことを言っております。

(21) 石油:
8月、夏場の需要が本格化する中、各社で、価格競争が激化し厳しい経営状況となった。

(22) 米穀:
今年の作柄良否について、本県はやや良が見込まれる。市場は平成21年度産米の余剰米の処理等の推移を考えると、全体的な過剰基調は今後も継続され景況は低調に推移するものと考えられる。

(23) 電機:
猛暑のためエアコンを中心に動き良好、暑さ一段落すると液晶テレビなど力が入る。又、合展なども控えているほか、エコポイントも来年3月迄伸びた事もあり期待出来る。

商店街

(24) 商店街(福島市):
わらじ祭り等夏祭りイベントが続いたが、暑い日が続いたせいか人出が少なかった。今月も先月に続き低調だった。

(25) 商店街(郡山市):
先月に引き続き前年を上回った。8月は駅前大通商店街と連携した一店逸品フェアが始まった。なかなか足並みがそろわなかったりしたが、出だしとしてはまずまずではないかと思う。今後一店逸品に合わせたイベントを随時行う予定です。9月の秋祭り、10月のまちなか音ステージ、11月のウィンターフェスティバルと外のイベントも続くので、まちなかが賑わってくれればと願います。

(26) 商店街(南相馬市):
猛暑続きで、売上増の店と減の店がはっきりと出た。

(27) 商店街(会津若松市):
暑さが長く続いた為、セール物の夏物が良く売れた。

(28) 商店街(いわき市):
暑すぎる8月だった。夏祭りのある8月前半までは、夏物最終商戦も順調の様子であったが、お盆の頃から大きく減速した。大型店で涼んでいるのか、商店街を歩くお客様がほとんどいない。コンビニ、電気店が伸びているとの事。

サービス業

(29) 旅館業(湯本温泉):
今年の夏は猛暑が続き、昨年に比べて旅館の入り込み数は多かったような気がします。一人あたりの単価は変わらず低価格が多かった。

(30) 旅館業(土湯温泉):
猛暑のためか、日中の人の出入りが悪かった。8月序盤は宿泊入込が好調であったが、お盆期間中は芳しくなかった。旅行日程の分散化や山形県などの高速無料化実験により変化が起きたのかもしれない。

(31) 理容業:
連日の猛暑続きでクールビズメニューが好調。また、冷シャンプー等暑さ対策のメニューを提案しているサロンは売上げを伸ばしているようだ。7、8月共努力しているサロンは昨年より忙しいようだ。高齢の経営者の店は安売店との競争が激化し売上げが減少しているようだ。

元気を出して豊富な経験を生かし癒しのメニュー等消費者が喜ぶものを提案し、安売店にはない価値の高い技術とサービスで頑張っ

てほしいと願っている。

(32) 廃棄物収集運搬業：

- ・円高の関係でスクラップ業者、リサイクル業者については、輸出に影響が出ています。
- ・廃棄物の発生は少しずつ好転している様です。

(33) 旅行業：

8月は東北4大祭りや大曲花火大会100年というイベントもあり企画旅行の実績は昨年度よりやや好調だった。レジャー白書2010による2009年余暇活動の参加人口はドライブが高速道路料金値下げの恩恵を受け首位となった。2位は国内観光旅行であったが旅行業の取扱額は大幅に減となった。余暇を求める楽しみ、目的は年齢層によって違いがある。また新しい余暇価値観が胎動しつつあるといわれている。

建設業

(34) 建設業（県一円）：

公共・民間工事共、昨年より減少しているが、国・福島県が公共工事における最低制限価格を上げたことにより一般競争入札が導入された時期よりは若干収益率は良くなっている。とは云え、公共工事は間違いなく減少していく中で、企業の存続のための対応が急がれる。

(35) 建設業（県南地区）：

公共土木工事の発注が昨年より減少しており、また他地区同業者の進出を受けて受注が難しくなっている。このまま年度後半も続けば、資金繰りが悪化し、経営が困難となる組合員が多くなる。

(36) 管工事：

給水・排水設備申請とも前月比・前年同月累計対比で減少している。組合員事業所の完工高も減少しており、厳しい経営状況にある。

(37) 専門工事：

元請建設業に再編の動きが出ている。建設の減少による売上高の減少から、会社存続が厳しくなり、統合・合併の動きが出ている。

運輸業

(38) トラック運送（県北地区）：

トラック運送業界は、このところの円高・ドル安の功罪として燃料価格は好転しているが、輸出産業を取引先とする収益性、需要の減少など景気を下押しするリスクが懸念されている。

(39) ハイヤータクシー：

8月利用の少ないのは例年のことであるが今年猛暑の影響で例年に比べると、少しは利用があった。

2 景気動向指数(福島県)

概 括

7月の景気動向指数(CI:コンジット・インデックス)は、先行指数105.8ポイント、一致指数83.2ポイント、遅行指数95.5ポイントとなった。

- 先行指数は、前月(101.4ポイント)を4.4ポイント上回り、2か月振りに上昇に転じた。
- 一致指数は、前月(81.0ポイント)を2.2ポイント上回り、2か月振りに上昇に転じた。
- 遅行指数は、前月(96.0ポイント)を0.5ポイント下回り、2か月振りに下降に転じた。

図1 景気動向指数(CI)グラフ <一致指数> (H17=100)



※CI(Composite indexes) : 景気変動の勢いや大きさといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

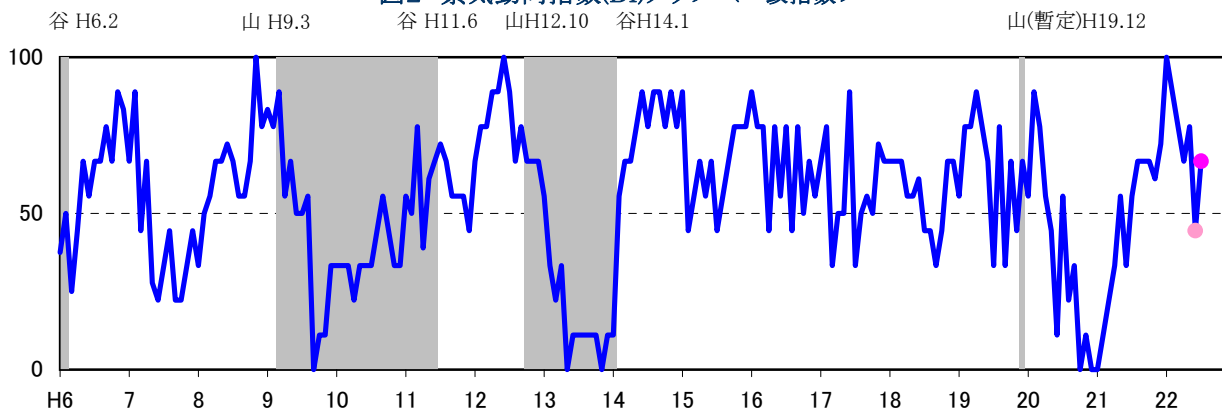
※グラフ上の景気基準日付のうち、シャドウ部分は景気後退期を示している。

CI指数表

区 分	景 気 動 向 指 数 (CI指数)					
	福島県(平成22年9月29日公表)			全 国(平成22年9月21日公表)		
	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
H22.1	103.8	74.4	90.5	96.9	99.3	83.6
2	100.0	73.9	91.9	98.1	99.4	84.0
3	103.9	80.0	94.1	101.9	100.5	84.8
4	103.0	80.2	95.1	101.7	101.3	82.9
5	104.9	83.5	93.6	98.6	101.2	83.4
6	101.4	81.0	96.0	99.0	101.3	83.5
7	105.8	83.2	95.5	100.0	103.0	87.4
採用指標数	8指標	9指標	7指標	12指標	11指標	6指標
資 料	県:統計分析課「福島県景気動向指数」					
出 所	国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

図2 景気動向指数(DI)グラフ <一致指数>



※DI(Diffusion Indexes) : 景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

【景気基準日付(暫定)設定～第14景気循環の山(暫定)～】

本県の第14景気循環の山(暫定)を平成19年12月と暫定的に設定した。

第14景気循環(暫定)の拡張期間は71か月となった。

なお、第14景気循環の景気基準日付の確定は、第14景気循環終了時に行うため、今回の基準日付(暫定)とは多少ずれる場合がある。

3 「福島県金融経済概況」

平成22年9月10日 日本銀行福島支店

- 県内景気は、厳しさを残しつつも、生産活動を起点に持ち直しの動きが広がりつつある。
(総合判断 前月据置)

すなわち、最終需要をみると、個人消費では、猛暑の影響や各種政策効果の持続がみられたが、厳しい雇用・所得情勢が続いていることを背景に、基調として弱い動きが続いている。住宅投資は低調に推移している。公共投資は、このところ前年比伸び率が鈍化している。今年度の設備投資は、低水準ながら、大手製造業を主体に若干の前年比プラスに転じる計画となっている。

鉱工業生産動向をみると、増勢テンポは緩やかになりつつも、持ち直しの動きが続いている。ただし、製造業の一部からは、エコカー補助金制度の終了に加え、円高や納入先の海外生産シフトの影響から、先行きの受注減少等を懸念する声が聞かれている。

消費者物価指数は前年を下回って推移している。

4 「月例経済報告」

平成22年9月10日 内閣府

- 景気は、引き続き持ち直してきており、自律的回復に向けた動きもみられるが、このところ環境の厳しさは増している。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。

(総合判断 前月据置)

- ・ 輸出は、このところ増勢が鈍化している。生産は、緩やかに持ち直している。
- ・ 企業収益は、改善している。設備投資は、持ち直している。
- ・ 企業の業況判断は、改善している。ただし、中小企業を中心に先行きに慎重な見方となっている。
- ・ 雇用情勢は、依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。

先行きについては、当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、企業収益の改善が続くなかで、景気が自律的な回復へ向かうことが期待される。一方、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動などにより、景気が下押しされるリスクが強まっている。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。

(政策の基本的態度)

政府は、「新成長戦略」に基づき、日本経済を本格的な回復軌道に乗せるとともにデフレを終結させるよう政策運営を行う。このところの円高や海外経済の減速懸念等による景気の下振れリスクに機動的に対応するため、「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」を9月10日に決定した。

政府は、デフレからの脱却を喫緊の課題と位置づけ、日本銀行と一体となって、強力かつ総合的な政策努力を行う。日本銀行に対しては、政府とマクロ経済運営に関する基本的視点を共有し、デフレの終結に向けた最大限の努力がなされることを期待する。日本銀行は、8月30日、固定金利方式の共通担保資金供給オペレーションの拡充を決定した。

5 「最近の県経済動向」総合判断

	8月(8月27日公表)	9月(9月29日公表)
総合判断	<p>県内の景気は、引き続き厳しい状況にあるが、雇用情勢において改善の動きがみられ、生産活動において回復に向けた動きがみられるなど、持ち直しの動きが続いている。</p> <p>なお、為替変動による影響を注視する必要がある。</p> <p style="text-align: right;">➡</p> <p>(総合判断:前月据置)</p>	<p>県内の景気は、引き続き厳しい状況にあるが、雇用情勢において改善の動きがみられ、生産活動において回復に向けた動きがみられるなど、持ち直しの動きが続いている。</p> <p>なお、為替変動による影響を注視する必要がある。</p> <p style="text-align: right;">➡</p> <p>(総合判断:前月据置)</p>



「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけます。

ふくしま統計情報BOX

検索

※ 次回公表予定日は平成22年10月25日です。

■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくできるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して26の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。さらに、福島県景気動向指数の要点をグラフで示しています。

また、参考として県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(公財)福島県産業振興センターの中小企業経営動向調査の中の「自由意見」(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部統計分析課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話 024(521)7143 内線 (2430)

FAX 024(521)7892

E-mail toukei_bunseki@pref.fukushima.jp